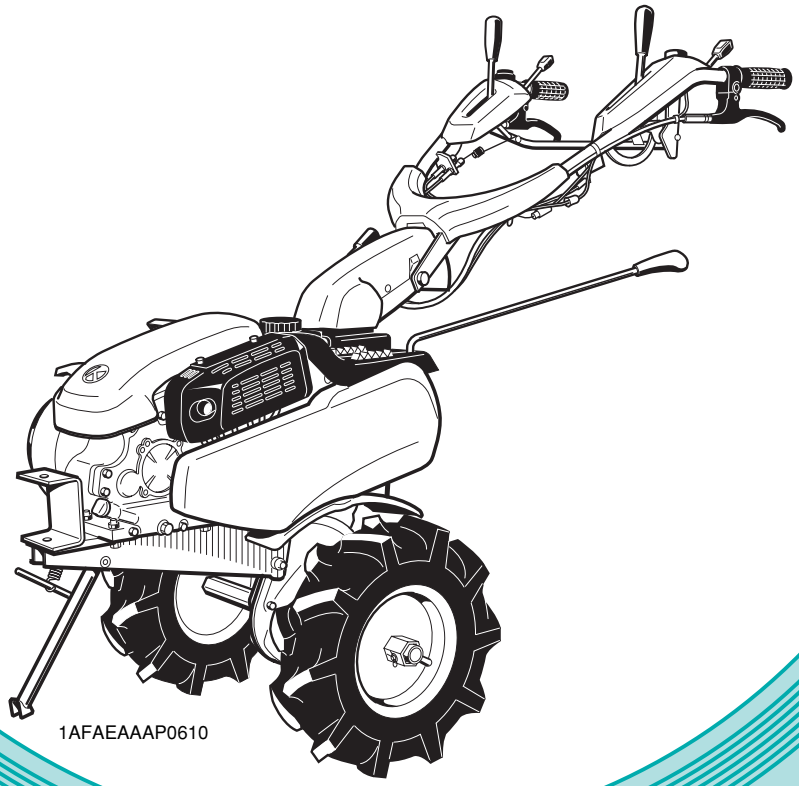
クボタ管理機

取扱説明書

TA 500 700 800



1AFAEAAAP0610

Operator's Manual

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですので良く理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

	エンジン停止		チョークレバー
			ガソリン燃料

専門用語の説明

ON	燃料コック［開］	**OFF**	燃料コック［閉］
R	変速位置［後進］	**PTO**	動力取出し軸

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は本製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいてじゅうぶん理解され，お買上げの製品がすぐれた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになったあとも製品に近接して保存し，わからないことがあったときには取出してお読みください。なお，品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの購入先に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ 危険	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。
重要	注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。
補足	その他，使用上役立つ補足説明を示します。

本製品の使用目的について

本製品は，農業用機械ですので農作業以外では使用しないでください。
使用目的以外の作業，また夜間作業や改造はしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は，保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）

仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，説明は［TA700SC 仕様］を基本とし，［TA700SC 仕様］と取扱いが異なる場合はそのつど追加説明してあります。従って，機種及び仕様区分によっては付いていない装置の説明もあります。

- 操向クラッチ入替え . . . . . S 仕様
- 操向クラッチ切替え装置付き . . . . . SC 仕様
- 3.50-7 タイヤ付き . . . . . K 仕様
- 4.00-7 タイヤ付き . . . . . J 仕様
- ゴムラグ車輪付き . . . . . N 仕様
- 16 × 7.00-8 タイヤ付き . . . . . W 仕様

目　次

⚠安全に作業するために

運転する前に **1**
始動するとき **2**
移動，作業するとき **3**
作業が終わったとき **8**
点検，整備をするとき **8**
表示ラベルと貼付け位置 **11**
表示ラベルの手入れ **12**

サービスと保証について

各部の名称と装置の取扱い

機体方向説明と装置の名称 **2**
各部の名称とはたらき **3**
主クラッチレバー 3
フィンガーレバー 4
補助主クラッチレバー 4
操向クラッチレバー 4
操向クラッチ切替えボタン 4
PTO クラッチレバー 5
PTO ケンセイ金具 5
主変速レバー 5
後進ケンセイボルト 6
ハンドル高さ調節レバー 6
ハンドル回動レバー 7
エンジンスイッチ 7
燃料コックレバー 8
リコイルスタータ 8
チョークレバー 8
プライミングポンプ 8
スロットルレバー 9
燃料キャップ 9
マフラ 9
スタンド 9
六角ホイールチューブ 9

作業前の点検

調子よく作業するために **10**
安全に作業するために **12**

運転のしかた

新車時の扱いかた **13**
ならし運転（最初の 10 時間まで） 13
エンジンの始動と停止のしかた **13**
始動のしかた 13
プライミングポンプの操作のしかた 14
停止のしかた 15
発進のしかた **16**
各部の調節 **16**
エアクリーナの調節 16
ハンドル高さの調節 17
ハンドルの回動 17
ハンドルの逆向き 18
車輪幅の調節，車輪交換のしかた 21
上手な作業のしかた **22**
耕うん作業手順 22
旋回手順 22

管理機の簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について **23**
日常の手入れ **23**
エンジンオイルの交換 23
ミッションオイルの交換 23
エアクリーナエレメントの清掃とオイル交換 24
燃料パイプの交換 25
燃料フィルタの清掃 25
ファンカバーの清掃 25
点火プラグの調節・清掃・交換 26
主クラッチケーブルの調節 26
操向クラッチケーブルの調節 28
ハンドル上下調節 28
PTO クラッチの調整 29
スロットルレバーの調整 29
タイヤ空気圧 29
使用後の手入れ **30**
エンジン始動不良を防ぐために 30
長期格納時の手入れ 30
燃料の抜取り 31
洗車時の注意 **31**

管理機を運搬するとき

自動車（トラック）への積込み，運搬 .. **32**

付表

主要諸元 **33**
標準付属部品 **34**
主な消耗部品一覧表 **35**

トラブルと処置

⚠ 安全に作業するために　　必ず読んでください

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危 険・⚠警 告・⚠注 意・重 要・補 足としてそのつど取上げています。

運転する前に

■ 運転前に

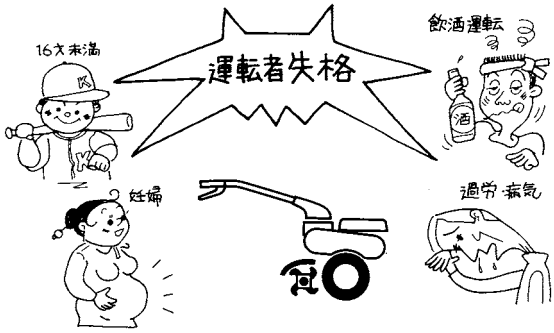
- 機械を動かす前に，取扱説明書と機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み，理解した上で運転してください。
- 機械の運転操作，特に主クラッチ**［切］**はすばやくできるよう，よく練習し，じゅうぶんに慣れてから作業してください。

1AGAAAPAP062B

■ 使用する人は

次の項目に該当する場合は，機械を使用しないでください。

- 本書及びラベルの内容が理解できない人
- 視力不足などのため表示内容が読めない人
- 飲酒時や体調が悪いとき，また妊娠中の人
- 16 才未満の人
- ハンドルを操縦する体力に自信のない方

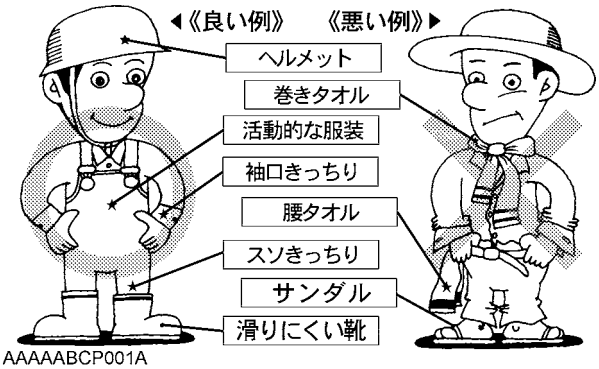


1AFACAAAP024A

■ 使用する人の服装は

- 回転部分や操縦装置に引っ掛かり事故の原因になる，だぶついた服，腰タオルなどはやめてください。
- ヘルメット，安全靴，保護メガネや手袋などを必要により着用してください。

作業時の服装



1AAAAABCP001A

■ 周囲への注意

- 子供，ペットを近づけないでください。
- 人を近くに寄せないでください。
- 共同作業者がいるときは，互いに注意してください。

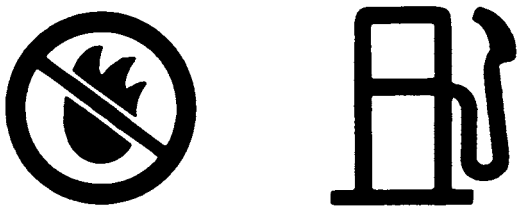
■ 他人に貸すときは

- 事前に運転のしかたを教え，**[取扱説明書]** を必ず読んでもらってください。
- 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対運転させないでください。

1AHACACAP001E

■ 給油・注油するとき［火気厳禁］

- 燃料の給油・各部への注油時は必ずエンジンを停止し，規定量以上入れないでください。
- エンジン回転中やエンジンが熱い間は火災のおそれがあるので給油はしないでください。
- 煙草を吸ったり火気を近づけないでください。
- 給油口の赤色ゲージ以上に燃料を入れないでください。
- 燃料補給後，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。
- こぼれた燃料はふき取ってください。

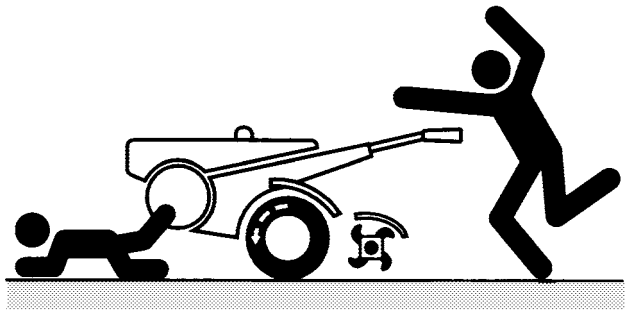


1AFACAAAP025A

始動するとき

■ エンジンを回すとき

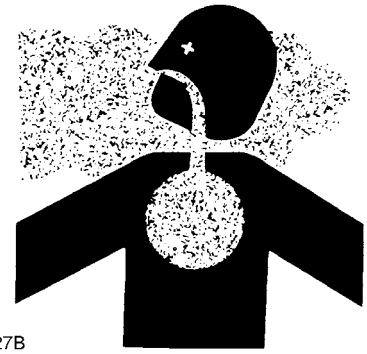
- 必ず本機の主クラッチレバー・PTO クラッチレバーを **[切]** り，主変速レバーを **[中立]** にして，付近に人（特に子供）を近づけないでください。
- もし主クラッチや変速が入っていると車体や爪軸が急に動いて事故になるおそれがあります。
- リコイルスタータを引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。



1AFACAAAP026A

■ 排気ガスに注意

- 換気が不じゅうぶんな所では，暖機運転や作業はしないでください。
  排気ガスにより一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- ハウス内では排気ガスが充満しないように，じゅうぶんに換気を行なってください。
  排気ガスによる中毒を起こし，死亡事故にいたるおそれがあります。

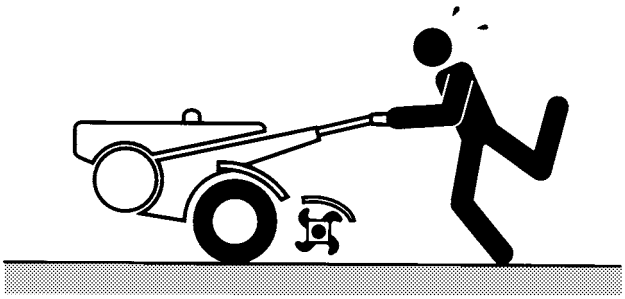


1AFACAAAP027B

移動，作業するとき

■ 発進するとき

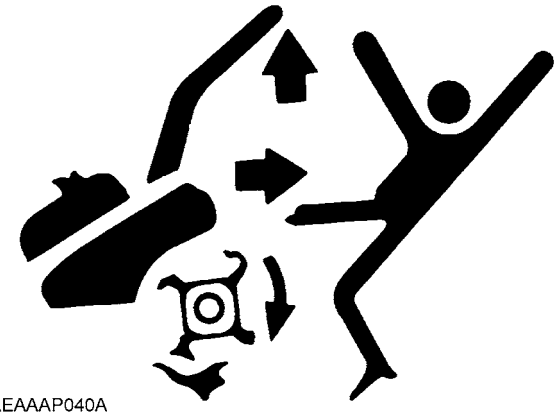
- 速い速度での走行はじゅうぶん注意してください。
- 車速の最低速で主クラッチレバーの**【入】**はゆっくり，**【切】**はすばやくの操作を習熟した上で使用してください。
- 小走りになるようなスピードを出したり，急発進，急旋回はしないでください。転倒などのおそれがあります。
- 後進の発進時は，ハンドルが持上がりやすいので，エンジンの回転を下げ，しっかりハンドルを押えながらゆっくり主クラッチを入れてください。



1AFACAAAP028A

■ ロータ装着時後進は禁止

- ハンドルが跳上がり回転する爪に巻込まれるおそれがあるので**【後進】**に変速しないでください。



1AFAEAAAP040A

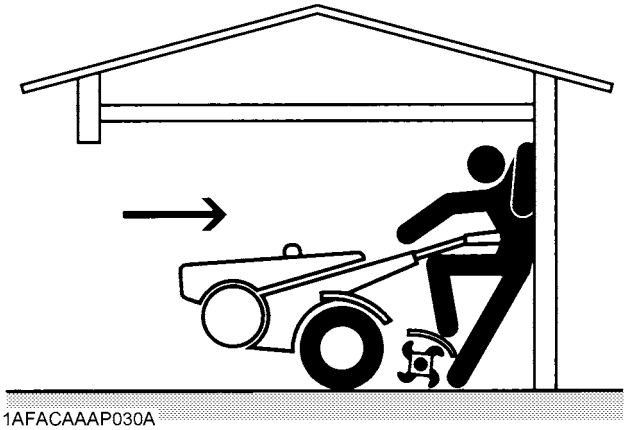
■ 移動するとき

- 移動の際は，必ずロータリの回転を止めてください。

1AFACAAAP034B

■ ハウス，車庫などでの移動

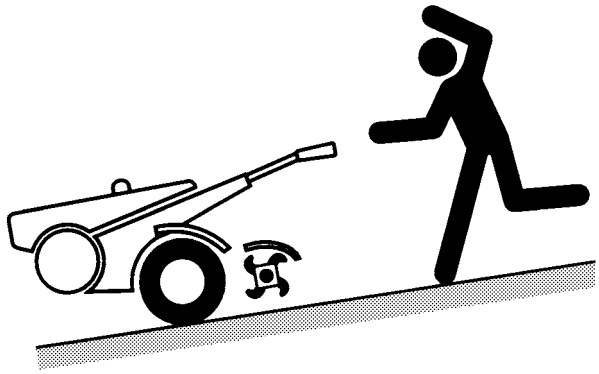
- 後方の壁，支柱，天井など障害物にはさまれるおそれがあるのでエンジン回転を下げて後進してください。
- 屋根の低いハウス内や車の荷台では，エンジンを停止して手で引出してください。



1AFACAAAP030A

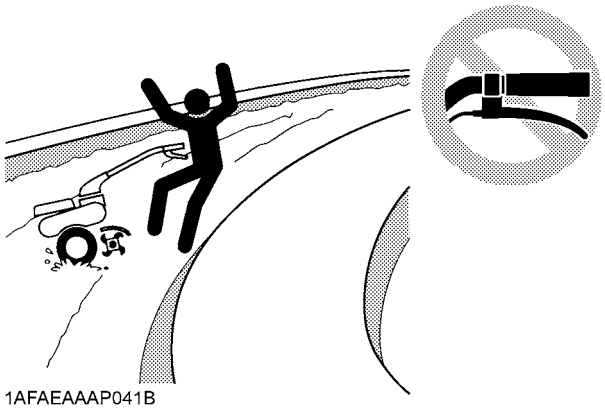
■ 坂道を移動するとき

- 坂道，ほ場の出入り，あぜの乗越えなどの途中で主クラッチを**［切］**ったり，主変速を**［中立］**にすると，機体が思わぬ方向に進み危険です。
- 変速操作は，機械が平坦な場所以外では行なわないでください。落下や転倒のおそれがあります。



1AFACAAAP031A

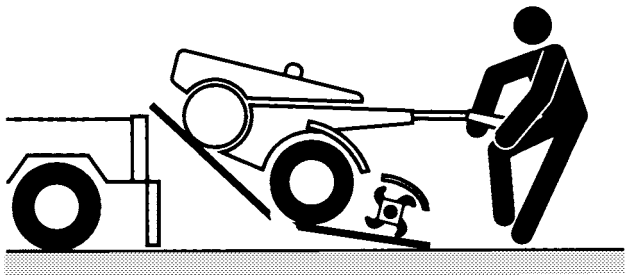
- 坂道や凹凸，カーブの多い路上で高速運転すると，転倒したりして危険ですから必ず低速運転してください。
- 坂道で操向クラッチを操作すると，思わぬ方向に曲がり転倒のおそれがありますので，必ずハンドル操作で方向転換してください。



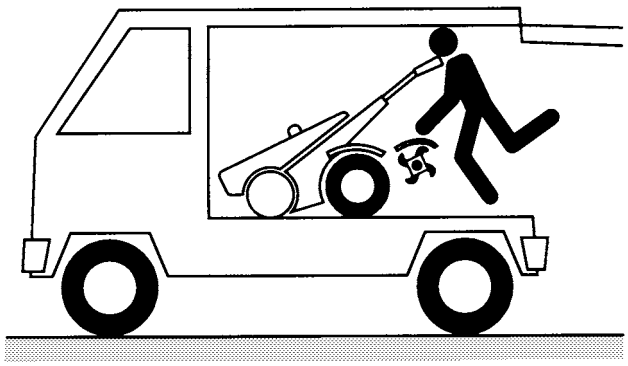
1AFAEAAAP041B

■ 運搬・積降ろしするとき

- 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
- アユミ板はすべり止めのついた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ**［1］**に対しアユミ板の長さ**［4 以上］**のものを使用し，確実に固定してください。
- 足元に注意し，車速は最低速で，上りは**［前進］**下りは**［後進］**で行ない，途中で主クラッチを切ったり，変速操作をしないでください。落下・転倒のおそれがあります。
- 車などで運搬するときは，荷台に天井がある車を使用すると天井に首や体をはさまれるおそれがありますので，必ず荷台に天井がない車を使用してください。
- 燃料コックレバーを必ず**［閉］**にし，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。燃料もれが発生し，火災や爆発のおそれがあります。
- 機体の固定はフロントヒッチ，リアヒッチ及びロープフックを使ってロープ掛けを行ない，確実に床に固定してください。
  (ハンドルを使っての固定はしないでください。)

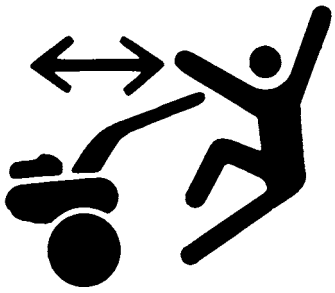


1AFACAAAP032A



1AFACAAAP033A

■ 耕うん作業するとき



1AFACAAAP029A

- いつでも主クラッチが**【切】**れる姿勢で運転してください。車軸（ロータ）・爪軸（ロータリ）作業開始時や作業中，機体が思わぬ方向に飛出し転倒や人身事故のおそれがあります。
- 作業前に，ほ場の状態をよく確認して，石・材木・針金・空カン・空ビンなどを取除いてください。
- 作業前，作業後には機械の整備・点検を行なってください。特にエンジン本体，マフラ周辺，配線部にワラくずなどがたまっていると，火災の原因になります。
- 周辺の枯れ草やたい積ワラなどは作業前に取除くか移動させてください。機械のマフラが接触すると，発火するおそれがあります。
- ほ場の中や周囲にある支柱，樹木や段差などは，作業前に位置を確認し，後進時にはさまれたり，転倒・転落しないよう安全な距離を保って，近づかないよう作業してください。
- ハウスや小屋の中，果樹園など障害物がある場所では，周囲をよく確認しながら作業してください。特に後進，旋回するときは，エンジン回転を下げ，ハンドルをしっかり押えて行なってください。
- 長いワラ・草など作業に支障のあるものは，作業前に取除いてください。機体が思わぬ方向に飛出し，転倒などのおそれがあります。

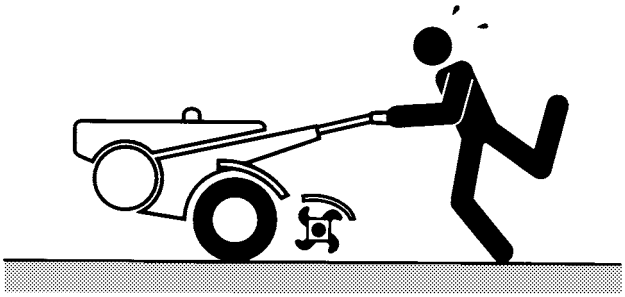
■ 回転している爪に注意

- ハンドル部を持上げ旋回するとき，足元及び周囲にじゅうぶん注意してください。回転する爪に巻込まれるおそれがあります。

1AFACAAAP034A

■ ほ場が硬いとき

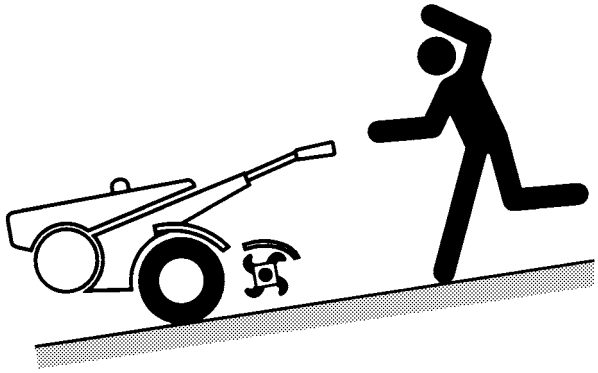
- 硬いほ場では車速を遅めにして，耕深も浅めで作業を行なってください。機体が飛出すおそれがあります。



1AFACAAAP028A

■ 機械から離れるとき

- エンジンは必ず停止させ，平坦で安定した場所に停車してください。移動・落下するおそれがあります。
  (やむなく傾斜地に止めるときは車止めをしてください)
- 周囲に草・ワラなど燃えやすいものがある場所に止めないでください。火災のおそれがあります。



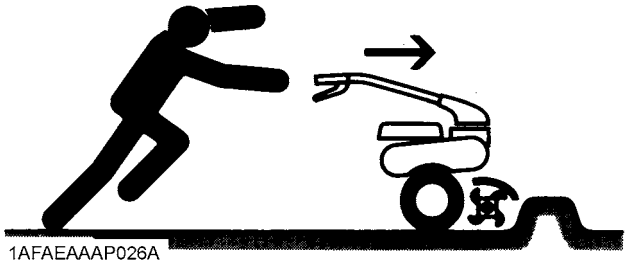
1AFACAAAP031A

■ ハンドル回動するとき

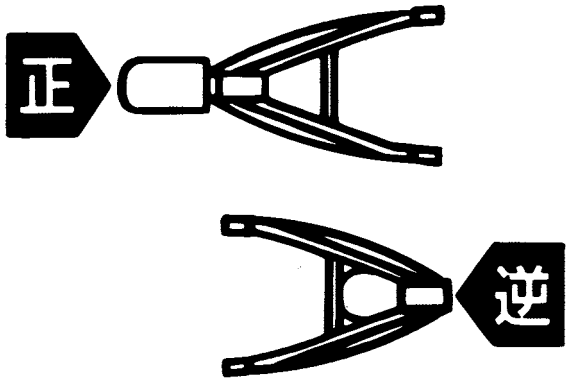
＊ 操向クラッチワイヤの切替え

[SC 仕様] は操向クラッチ切替え装置を切替え，**[SC 仕様]** 以外は，操向レバーとワイヤを入替えてください。

ハンドル位置を正（逆）から逆（正）に変更すると，操向クラッチの方向が左右入替わり思わぬ方向に旋回して危険です。



1AFAEAAAP026A



1AFAEAAAP027A

＊ 後進ケンセイボルトの切替え

ハンドル位置を変えたときは必ずケンセイボルトの位置を切替えてください。

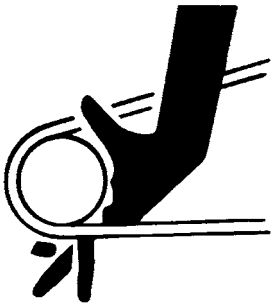
高速で後進すると機体が運転者に衝突し危険です。

1AFAEAAAP042A

■ PTO 軸を使用するとき

＊ 回転物に巻込まれるおそれがあるので，まわりにカバーや囲いをしてください。

＊ 使用しないときはカバーを組付けてください。

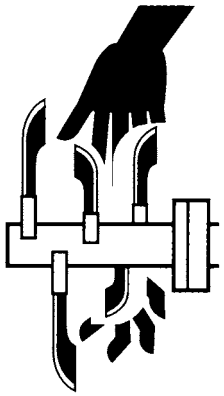


1AFAEAAAP031B

作業が終わったとき

■ 掃除をするとき

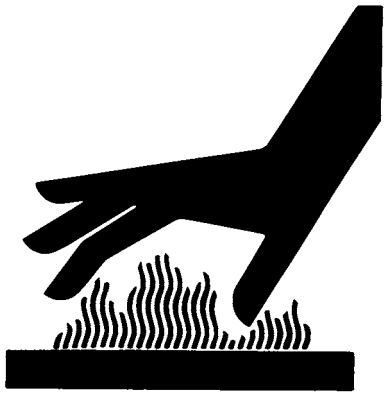
- 必ずエンジンを停止してください。車軸（ロータ）・爪軸（ロータリ）などに巻付いた草・ワラ・泥土などを取除くときは，巻込まれるおそれがあります。



1AFACAAAP036A

点検，整備をするとき

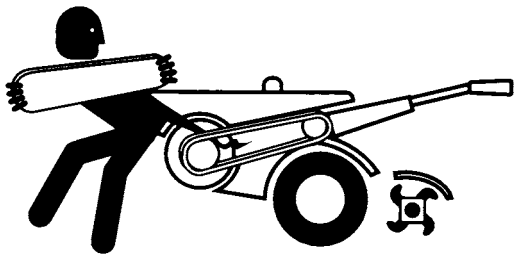
- 点検，整備，アタッチメントの脱着などは，機械が転倒しない平たんな所に機械を安定させて，エンジンを止め，高温部が冷めてから行なってください。



1AFACAAAP039A

■ カバー類は必ずつける

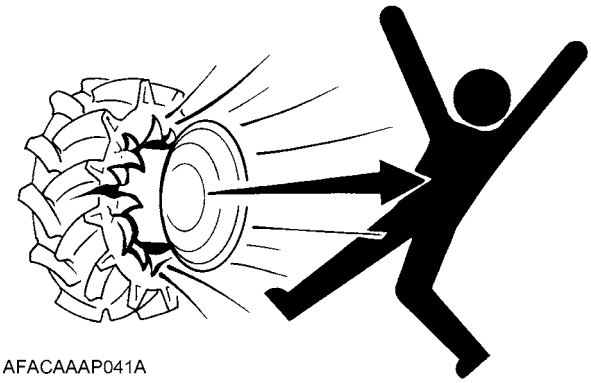
- ベルトカバー，PTO　軸カバーなどの防護カバーを取外すときは，必ずエンジンを停止してください。巻込まれるおそれがあります。
- 取外したカバー類は元通り組付けてください。



1AFACAAAP037A

■ タイヤの整備

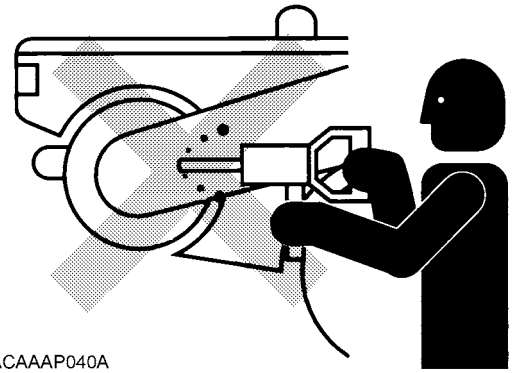
- タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引起こす原因になります。
- タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
- タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
  （特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）



1AFACAAAP041A

■ 機械の改造禁止

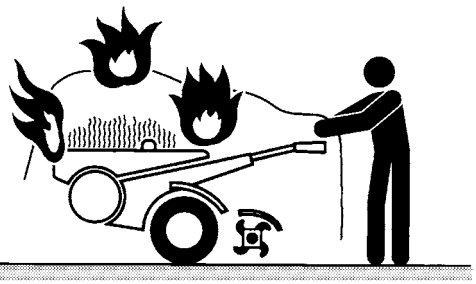
- 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながるおそれがあります。



1AFACAAAP040A

■ 格納するとき

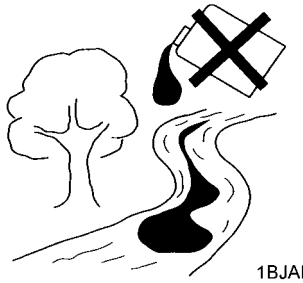
- 機体に保管用カバーやシートをかけるときは，高温部が冷めてから行なってください。
- 乾いた草・ワラなど可燃物のあるところでの保管はしないでください。
  火災のおそれがあります。



1AFACAAAP076A

■ 廃棄物の処理について

- 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却しないでください。環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
- 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
- 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
- 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者などに相談して，所定の規則に従って処理してください。



1BJABAAAP0180

■ 夜間作業の禁止について

- 本機は夜間作業灯を装備していませんので，夜間作業はしないでください。思わぬ事故になるおそれがあります。

■ 作業機の着脱について

- 作業機の着脱は，平坦で安全な場所で行なってください。
- PTO 作業機の装着・取外し・調整・掃除又は修理をするときは，作業機が完全に止まるまで待ってください。

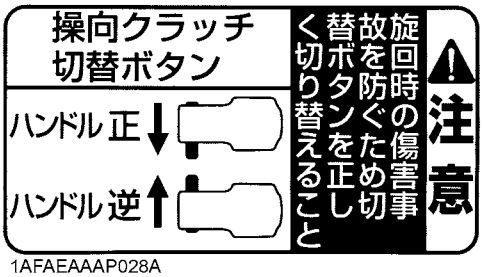
1AGAAAPAP079B

表示ラベルと貼付け位置

(1) 品番　KF022-4726-1

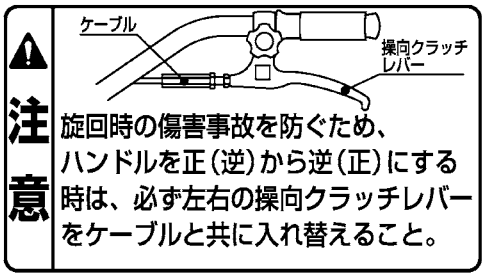
1AFAEAAAP060A

(2) 品番　KF022-4722-1 [SC仕様]

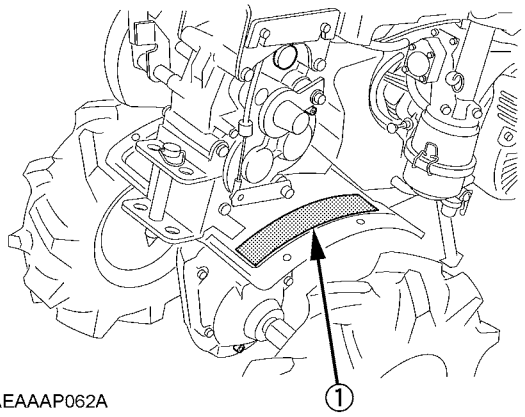


1AFAEAAAP028A

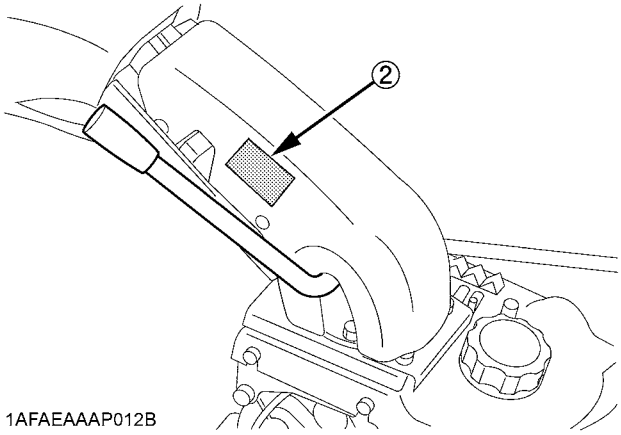
(2) 品番　KF016-4731-1 [S仕様]



1AFAEAAAP068A



1AFAEAAAP062A

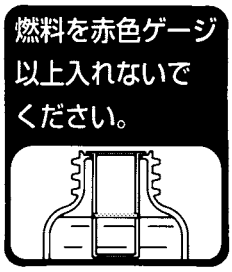


1AFAEAAAP012B

(1) 品番　61592-4811-2

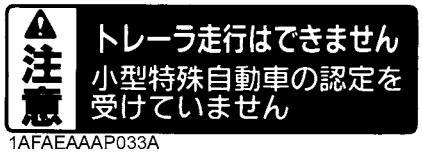
1AFAEAAAP032A

(2) 品番　KF022-4720-1



1AFAEAAAP038A

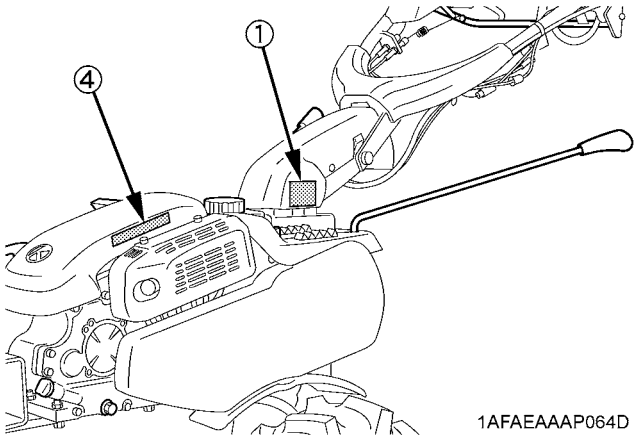
(3) 品番　60932-4828-1



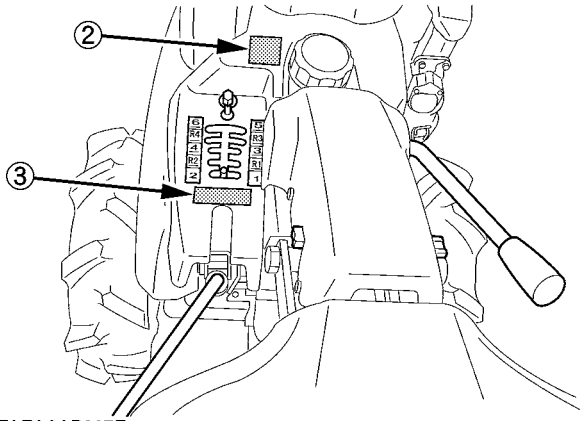
1AFAEAAAP033A

(4) 品番　E3171-8721-1

1AFAEAAAP037A



1AFAEAAAP064D



1AFAEAAAP007E

表示ラベルの手入れ

- ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
  もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布でふいてください。
- 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
- 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全にふき取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

この製品には，保証書が添付してありますので，ご使用前によくご覧ください。

■ ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ**［ご相談窓口］**を設けておりますのでお気軽にご相談ください。
その際　(1) 型式名と製造番号
　　(2) エンジン番号
をあわせてご連絡ください。
なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

警　告

＊ 機械の改造は危険ですので，改造しないでください。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

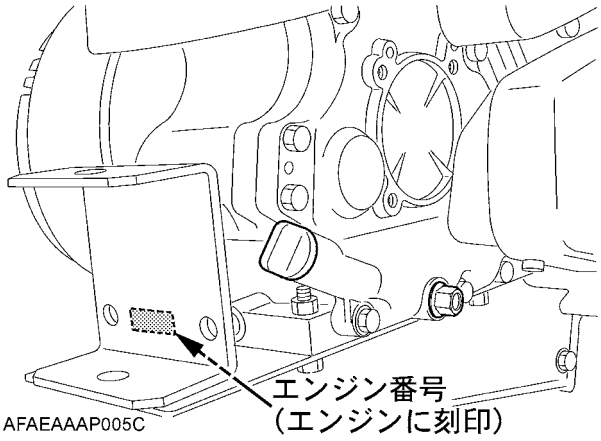
◆ 認定番号

安全鑑定の農機型式名及び番号が必要な場合は，下記の型式名及び番号をご使用ください。

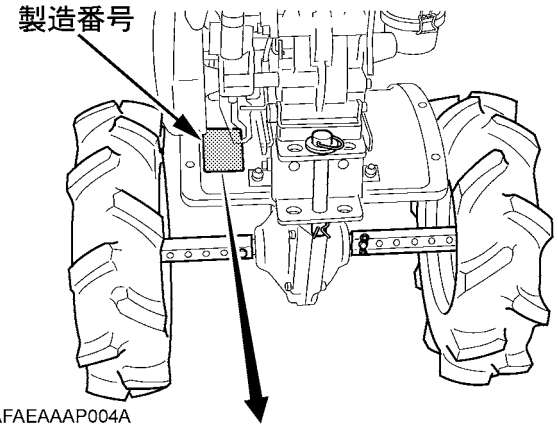
農機型式名	販売型式名	安全鑑定番号
TA500-S	TA500	31117
TA700	TA700 TA800	31118
TA700-S	TA700-S TA800-S	31119

■ 補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打切り後 9 年といたします。
ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期などについてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。



1AFAEAAAP005C



1AFAEAAAP004A

1AFAEAAAP056A

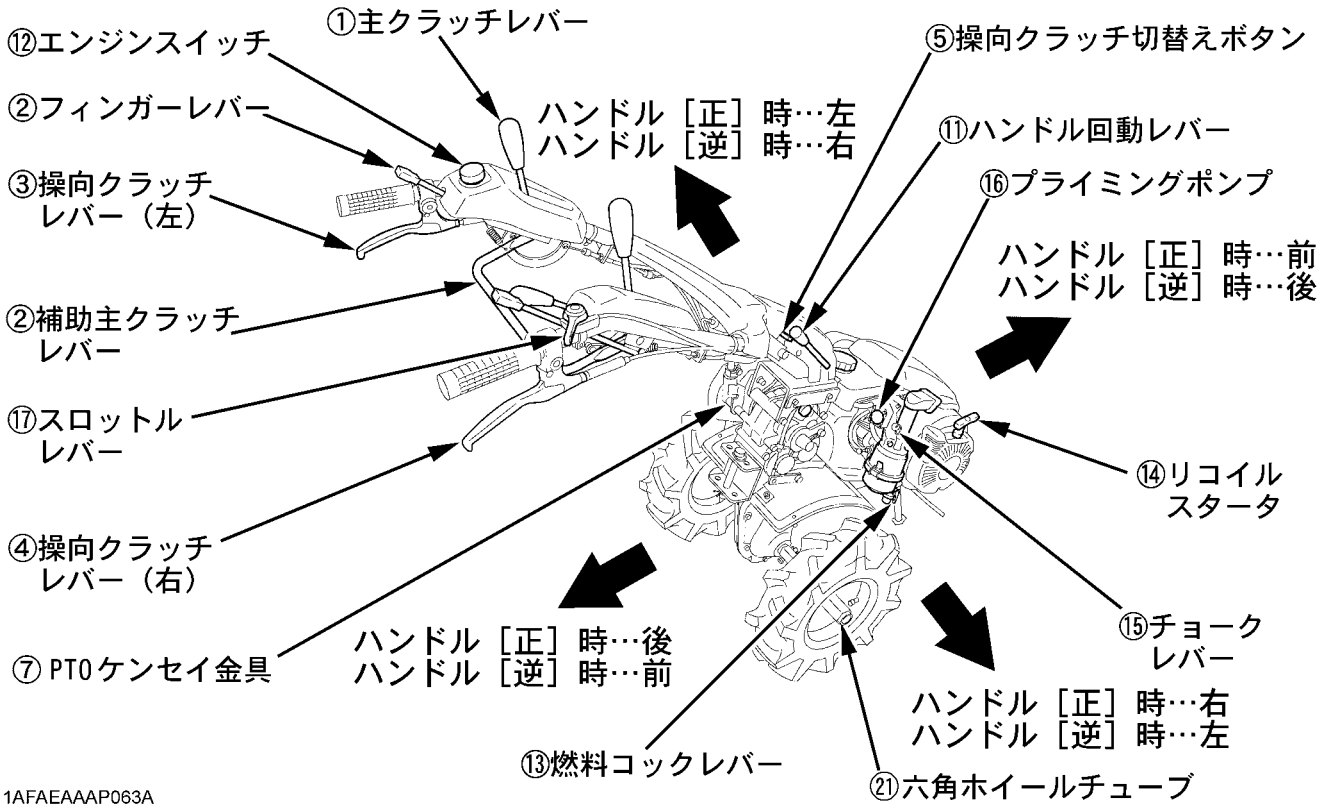
注　意

＊ 公道でのトレーラ走行はできません。
小型特殊自動車の認定を受けておりません。
公道を走行すると，道路運送車両法に違反します。
公道を移動するときは，自動車（トラック）に積んで運搬してください。

各部の名称と装置の取扱い

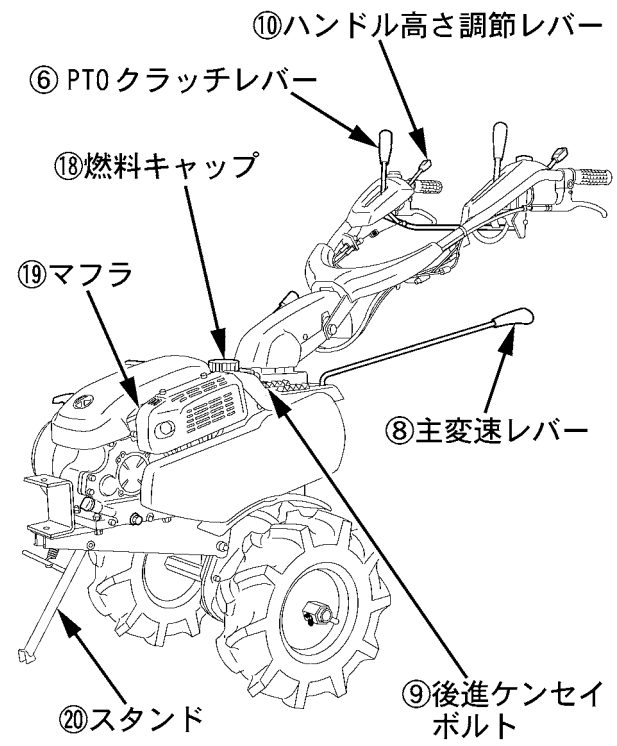
機体方向説明と装置の名称

- 各装置は仕様により異なる部分がございます。お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようにお願いいたします。



1AFAEAAAP063A

	参照ページ		参照ページ
(1) 主クラッチレバー	3	(12) エンジンスイッチ	7
(2) フィンガーレバー	4	(13) 燃料コックレバー	8
(3) 補助主クラッチレバー	4	(14) リコイルスタータ	8
(4) 操向クラッチレバー	4	(15) チョークレバー	8
(5) 操向クラッチ切替えボタン	4	(16) プライミングポンプ	8
(6) PTO クラッチレバー	5	(17) スロットルレバー	9
(7) PTO ケンセイ金具	5	(18) 燃料キャップ	9
(8) 主変速レバー	5	(19) マフラ	9
(9) 後進ケンセイボルト	6	(20) スタンド	9
(10) ハンドル高さ調節レバー	6	(21) 六角ホイールチューブ	9
(11) ハンドル回動レバー	7		



1AFAEAAAP064A

ハンドル正

1AFADAAAP009A

ハンドル逆

1AFADAAAP010A

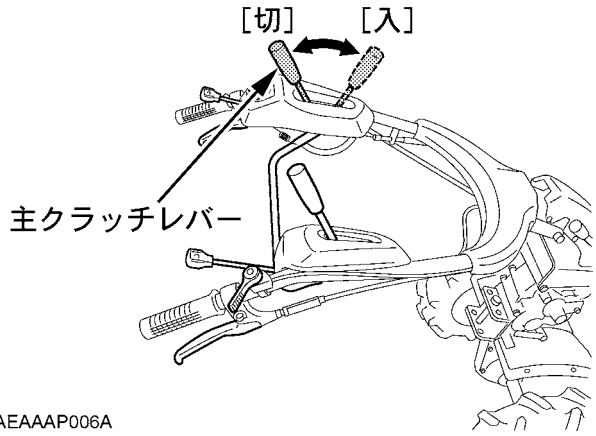
各部の名称とはたらき

■主クラッチレバー

注 意

＊ 傾斜地や後進するときなどは，ハンドルが持上がり危険な場合がありますので，主クラッチレバーをゆっくり操作してください。
＊ 狭い場所や後進の運転についてはエンジンの回転を低速にし，後方や上方など周りの安全を確かめ，ゆっくりと主クラッチレバー操作してください。

エンジンからの動力を断続します。
1. レバーを**【入】**位置にするとクラッチが入ります。
2. レバーを**【切】**位置にするとクラッチが切れます。

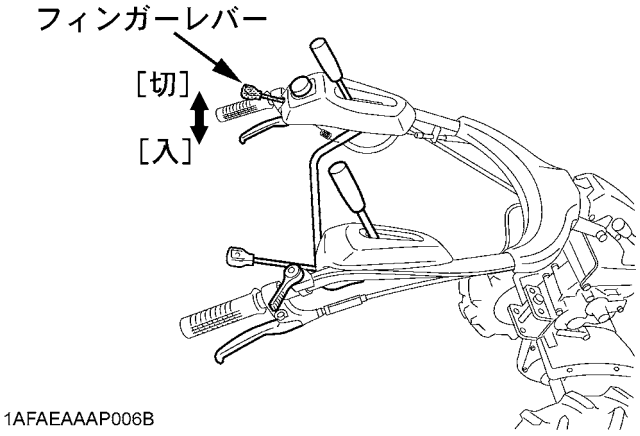


1AFAEAAAP006A

■フィンガーレバー

主クラッチレバーとフィンガーレバーは連動していますので，どちらでもクラッチ操作ができます。

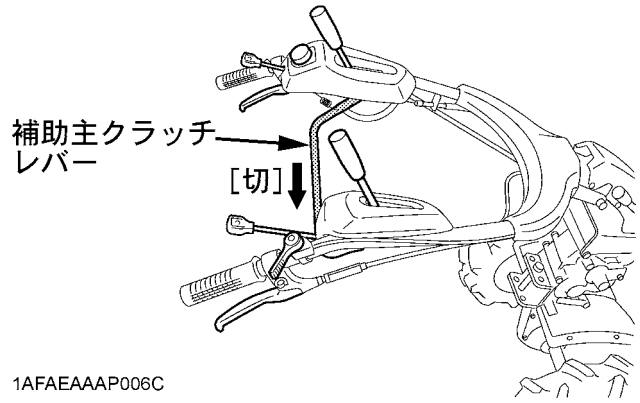
1. レバーを押し下げるとクラッチが**【入】**になります。
2. レバーを押し上げるとクラッチが**【切】**になります。



1AFAEAAAP006B

■補助主クラッチレバー

非常時にレバーを下方に押下げると，主クラッチが切れ走行・PTO 共に止まります。



1AFAEAAAP006C

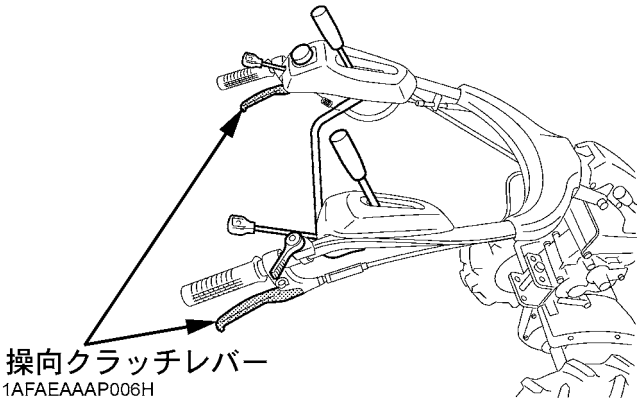
■操向クラッチレバー

[S, SC 仕様]

注 意

＊ 車両への積降ろし時や坂道では，絶対に操作しないでください。

- 右側のレバーを握る…右側に旋回します。
- 左側のレバーを握る…左側に旋回します。



1AFAEAAAP006H

[S, SC 仕様]

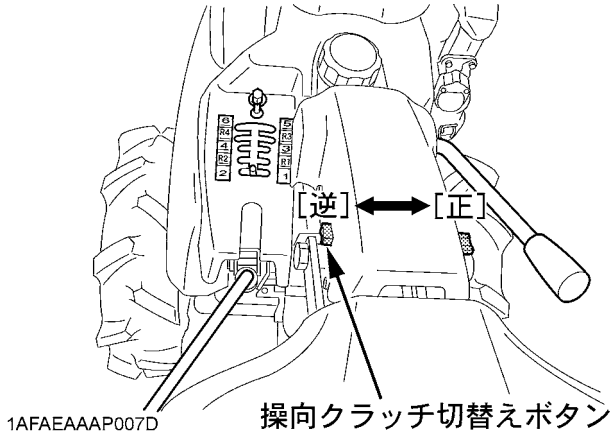
■操向クラッチ切替えボタン

[SC 仕様]

注 意

＊ 切替え後，確実に作動するか確認してください。

ハンドル位置を変えるとき同時に切替えます。



1AFAEAAAP007D

[SC 仕様]

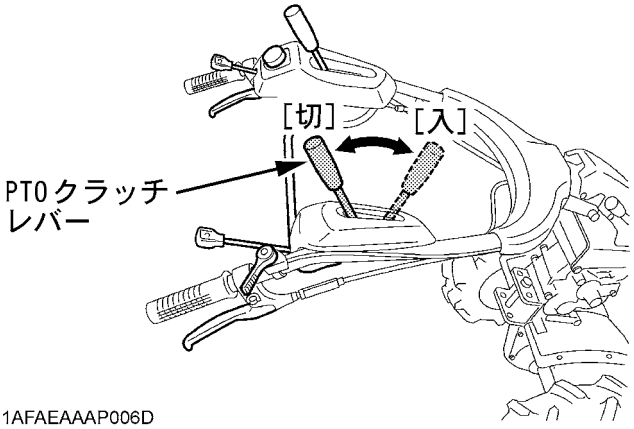
■ PTO クラッチレバー

注　意

＊ PTO を使用しないときは，PTO 軸カバーを装着してください。

ロータリに伝わる動力を断続します。

1. レバーを **[入]** 位置にするとロータリへの動力伝達が入り，回転します。
2. レバーを **[切]** 位置にするとロータリへの動力伝達が切れ，回転が止まります。



1AFAEAAAP006D

補　足

＊ **[R]（後進）** 時には，PTO　クラッチレバーは **[入]** 位置に入りますが，PTO クラッチは入りません。
＊ PTO クラッチレバーが **[入]** の位置では，**[R]（後進）** に変速できません。

■ PTO ケンセイ金具

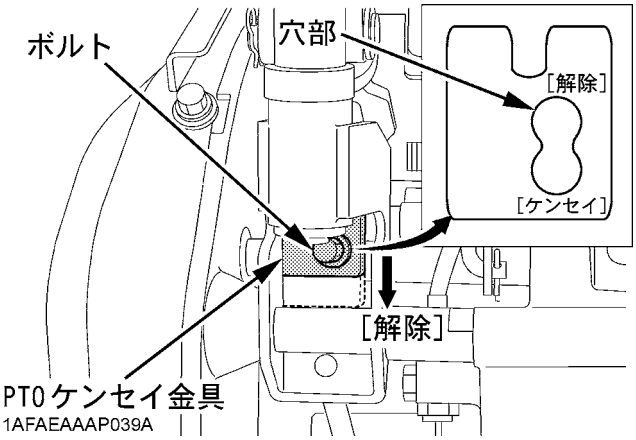
PTO クラッチレバーが **[入]** 位置では，**[R]**（後進）に変速できません。また，**[R]**（後進）時には，PTO クラッチレバーは **[入]** 位置に入りますが，PTO クラッチは入りません。
ハンドル **[逆]** 位置の前進で作業をするときは，PTO ケンセイ金具を解除してください。

重　要

＊ ボルトを締付けるときは，必ずボルトの段付部を PTO ケンセイ金具の穴部に入れてください。

警　告

＊ ハンドル正位置での作業時には，必ず PTO ケンセイ金具を元に戻してください。



1AFAEAAAP039A

■主変速レバー

注　意

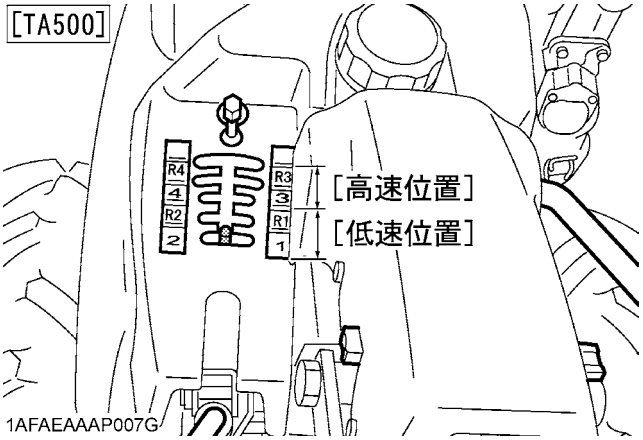
＊ エンジンを始動する前に，必ずレバーを［中立］にしてください。
＊ 変速操作は主クラッチを［切］ってから行なってください。
＊ 走行中は変速しないでください。
＊ PTO ケンセイ金具のボルトは，ハンドル位置に合せて切替えたあと，確実に締付けてください。

変速は案内板の表示位置に合せてシフトします。
変速段数は下表参照。

		TA500	TA700	TA800
ハンドル正位置時	前進	4 段	6 段	6 段
	後進	2 段	4 段	4 段
ハンドル逆位置時	前進	4 段	4 段	4 段
	後進	2 段	4 段	4 段

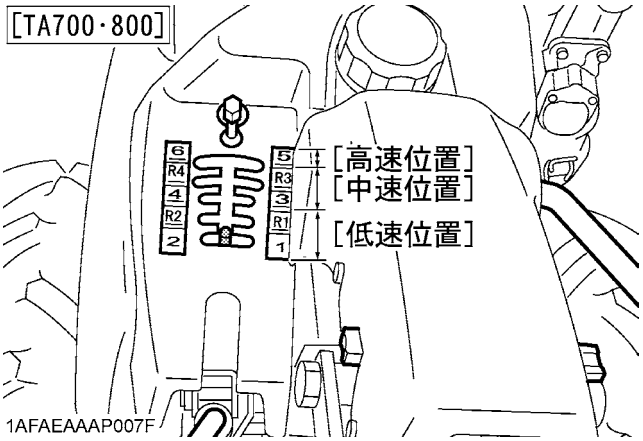
1. レバー根元部を持上げて回動します。
2. 変速は案内板の表示位置に合せてシフトします。
3. 低速・中速・高速（［TA500］は低速・高速）位置の切替えは，**カチッ** と音がするまで操作します。

［TA500］



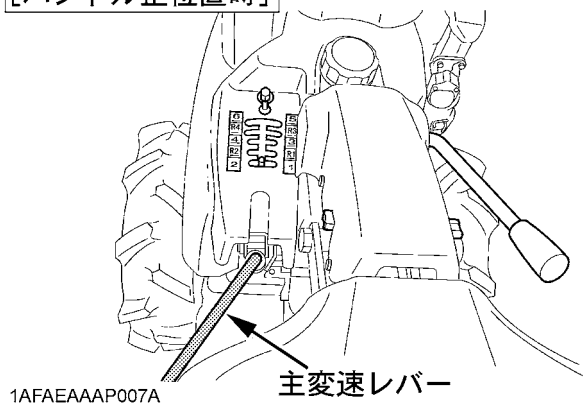
1AFAEAAAP007G

［TA700･800］



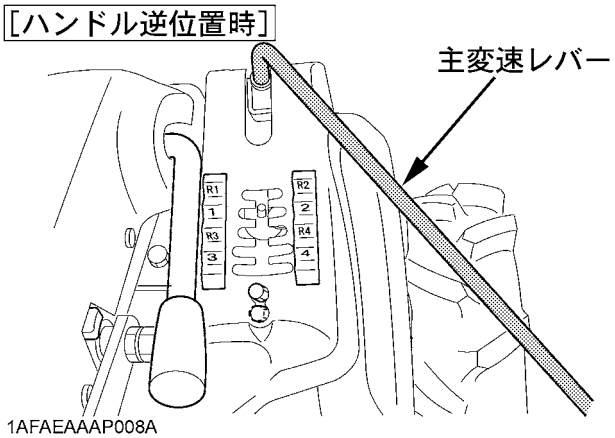
1AFAEAAAP007F

［ハンドル正位置時］



1AFAEAAAP007A

［ハンドル逆位置時］



1AFAEAAAP008A

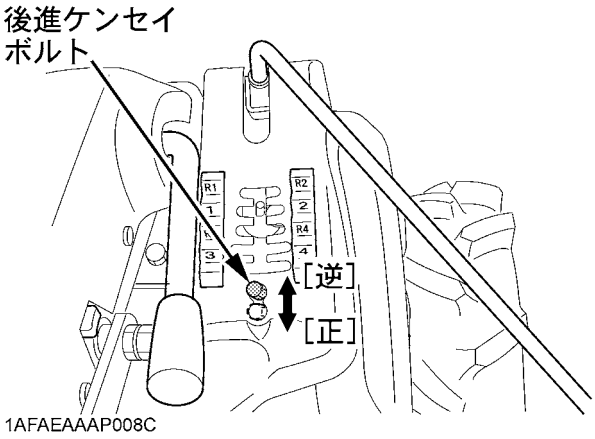
車速については，**付表**（33 ページ）を参照してください。

■後進ケンセイボルト

注　意

＊ ハンドルを逆位置にしたときは，安全のため，後進時高速走行とならないよう，必ずケンセイ金具をセットしてください。

1. 後進ケンセイボルトをゆるめ，銘板の**［正］**位置から**［逆］**位置にして，ケンセイ金具をセットします。
2. 後進ケンセイボルトをしっかりと締付け，ケンセイ金具を固定します。



1AFAEAAAP008C

補　足

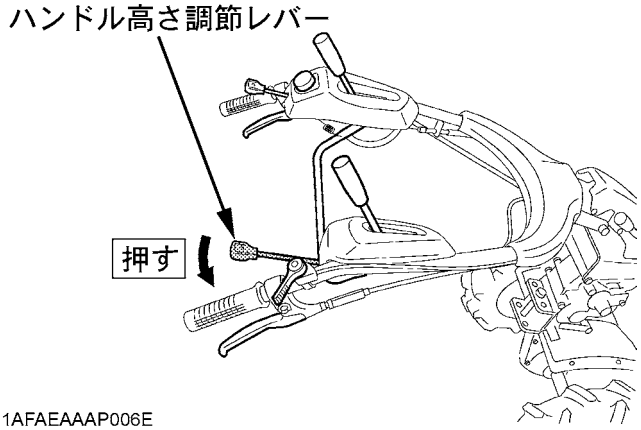
＊ ハンドルを正位置に戻したときは，後進ケンセイボルトも**［正］**位置にして，ケンセイ金具を元に戻してください。

■ハンドル高さ調節レバー

注　意

＊ 単体のとき…
ハンドル高さ調節レバーの操作は，必ずスタンドを立てて行なってください。
＊ ロータリ付きのとき…
ロータリが地面に接地していないときは，危険のため操作はしないでください。
＊ 走行時・作業時…
危険のため操作はしないでください。
＊ 操作するときは必ず主クラッチを切り，周囲を確認すると共にゆっくり操作し，操作後はハンドルが確実に固定されているか確認してください。

ハンドルの高さは 4 段の調節ができます。
1. ハンドル高さ調節レバーを押すとハンドルが上下に自由に動きます。
2. ハンドル高さ調節レバーを離すと固定されます。このときハンドルが固定されていることを確認してください。



1AFAEAAAP006E

補　足

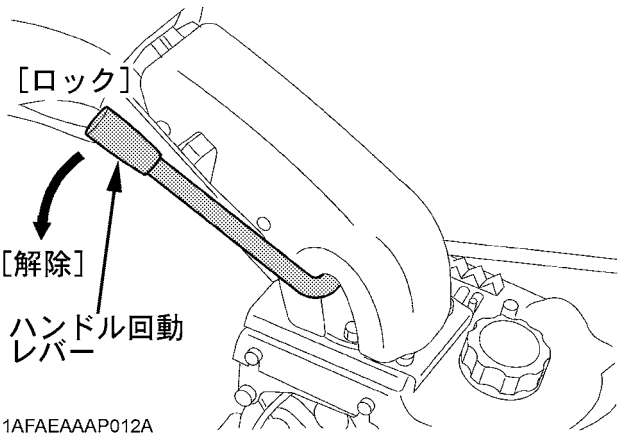
＊ ハンドルを少し持上げた状態で，レバーを押してください。

■ハンドル回動レバー

注　意

＊ エンジンを必ず停止し，平坦な場所にスタンドを立て，安定させて行なってください。
＊ 各レバーが正常に動くか確認してください。
＊ ハンドルを逆位置にしたときは必ず後進ケンセイボルトを銘板の［逆］印の位置にして固定します。
＊ ハンドルを正位置に戻したときは，後進ケンセイボルト及び PTO ケンセイ金具の位置も，元（[正］位置）に戻してください。
＊ 操向クラッチは必ず切替えてください。

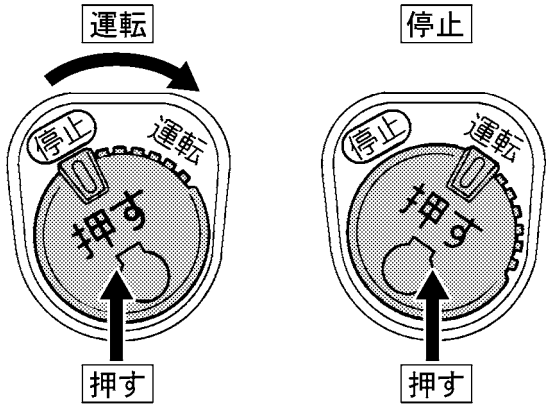
ハンドル回動レバーを矢印方向に操作することにより，ハンドルを正位置又は逆位置に回動することができます。また，ハンドルが正位置で右側へ２段，左側へ１段，角度調節することができます。（ハンドル逆位置の場合は左右に１段のみ）



1AFAEAAAP012A

■エンジンスイッチ

エンジンの始動・停止に用います。
1. スイイッチを押しながら**【運転】**位置に回すと始動が可能です。
2. スイッチを押すと左に回って**【停止】**位置に戻り，エンジンが停止します。



1AFACAAAP059A

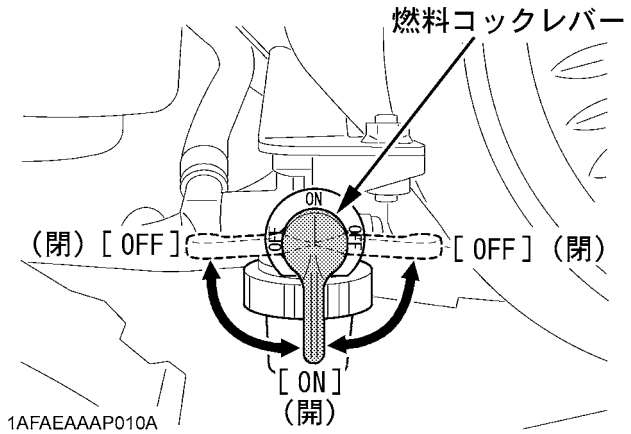
補　足

＊ 非常時にはエンジンスイッチを押してください。エンジンが停止し，緊急停止スイッチの役割も果たします。

■燃料コックレバー

燃料タンクからエンジンへ燃料の**［供給］・［停止］**をします。エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めてください。

1. **［OFF］（閉）**…燃料停止。
2. **［ON］（開）** …燃料供給。



1AFAEAAAP010A

重　要

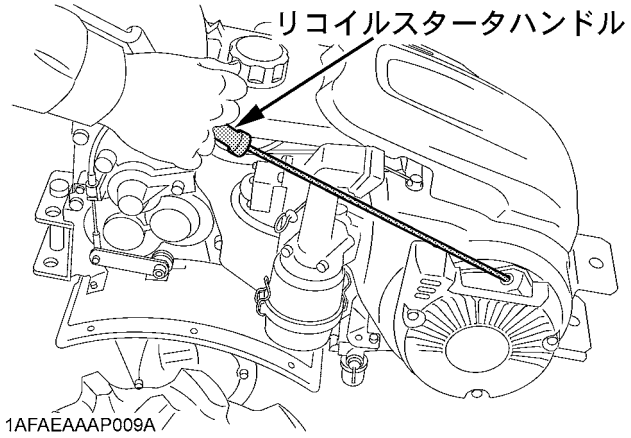
＊ コックを開いた状態で，前に倒したり車両で運搬すると，エンジン始動が困難になる場合があります。

■リコイルスタータ

注　意

＊ リコイルスタータを引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。

エンジンの始動をします。
主クラッチレバーを**［切］**にし，リコイルを引張ると始動します。



1AFAEAAAP009A

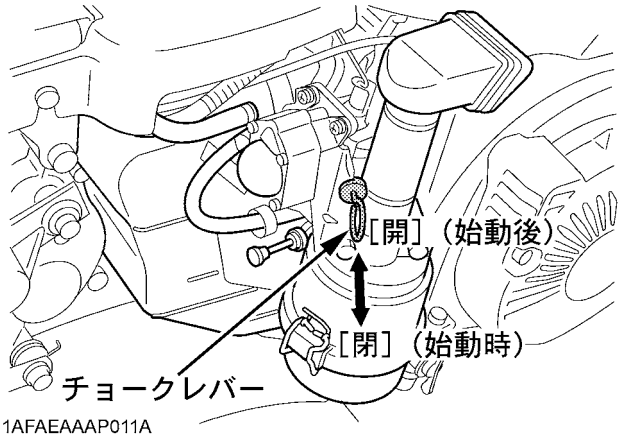
補　足

＊ 主クラッチレバーが**［入］**のときには，エンジンを始動できません。
必ず**［切］**にしてください。
＊ 主変速レバーを**［中立］**にして始動してください。

■チョークレバー

エンジンがかかりにくいときに使用します。

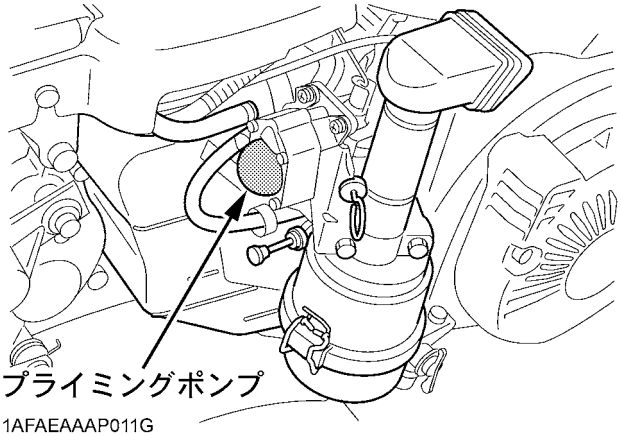
1. **始動時**…レバーを引く。（チョーク**［閉］**）
2. **始動後**…レバーを押す。（チョーク**［開］**）



1AFAEAAAP011A

■プライミングポンプ

ガソリンをキャブレタに送込むポンプです。
エンジンが始動しにくいときは，ポンプを数回押してガソリンをキャブレタへ送込んでから行なってください。



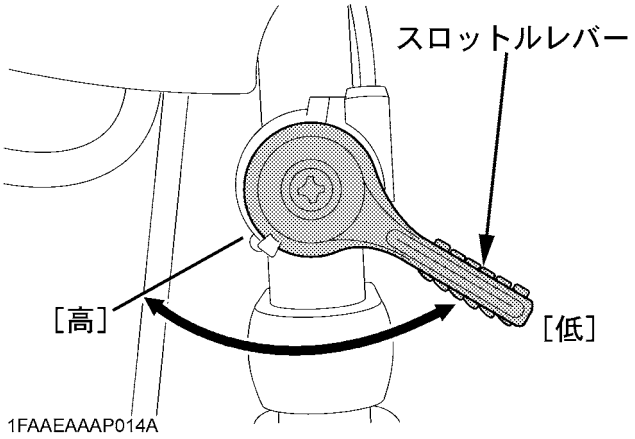
1AFAEAAAP011G

補　足

＊ 長期格納後など，キャブレタ内のガソリンを抜取っている場合には，必ずポンプでガソリンをキャブレタへ送込んでください。

■スロットルレバー

エンジン回転の調節をします。
1. **［高］**の方向に回すと回転が上がります。
2. **［低］**の方向に回すと回転が下がります。



1FAAEAAAP014A

■燃料キャップ

警　告

＊ 給油するときはエンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。
＊ 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。
＊ 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。
＊ 燃料は規定量（赤色ゲージ）以上入れないでください。
＊ 給油後，燃料キャップはガソリンがもれないようしっかり締めてください。
＊ 上記の作業をおこたると，爆発・火災のおそれがあります。

自動車用レギュラガソリンを使用してください。

燃料の種類	規定容量
自動車用レギュラガソリン	2.8 L

重　要

＊ 燃料タンク内にゴミや水及びその他異物が混入しないように，注意してください。

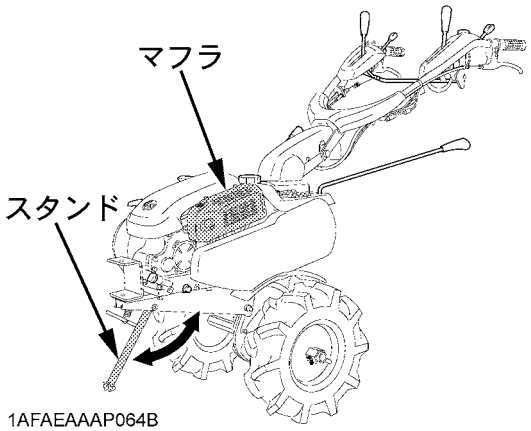
■マフラ

注　意

＊ マフラに手でふれないでください。ヤケドをするおそれがあります。

■スタンド

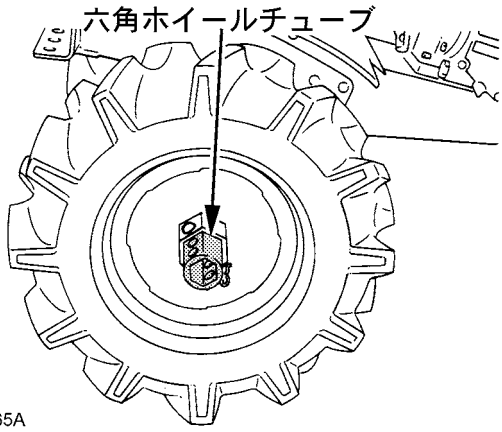
必要に応じてスタンドを出し入れすることができます。



1AFAEAAAP064B

■六角ホイールチューブ

輪距が変えられます。



1AFAEAAAP065A

作業前の点検

注 意

＊ 平坦な場所にスタンドを立て，機械を安定させて点検してください。
＊ 点検中はエンジンを停止してください。

調子よく作業するために

（詳細は 23 ページの**管理機の簡単な手入れと処置**の項を参照）

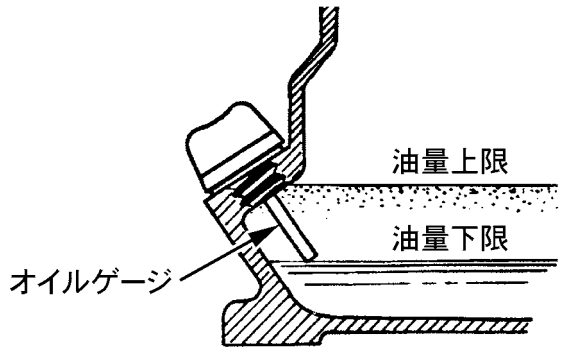
警 告

＊ 給油するときはエンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。
＊ 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。
＊ 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。
＊ 燃料は規定量（赤色ゲージ）以上入れないでください。
＊ 給油後，燃料キャップはガソリンがもれないようしっかり締めてください。
＊ 上記の作業をおこたると，爆発・火災のおそれがあります。

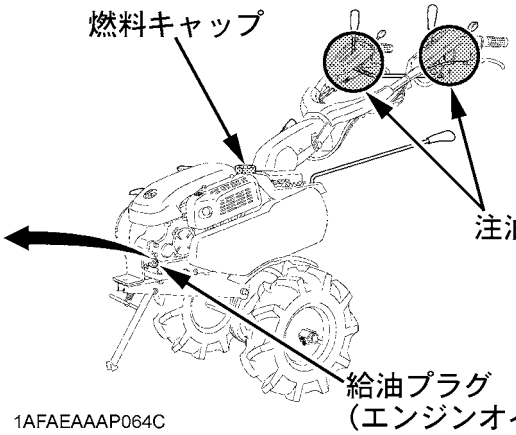
◆ 燃料
- スタンドを立てた状態で燃料を入れてください。
- 自動車用レギュラガソリンを補給してください。
- タンク容量……約 2.8L（赤色ゲージ以下にしてください）

◆ エンジンオイル
- エンジンを水平にして，オイルゲージで規定量あるか点検してください。
- 不足している場合は，クボタ純オイルを補充してください。
（ガソリンエンジン用）
スーパー G 10W-30

◆ 各ケーブル
- ケーブルの端より，エンジンオイルを注油してください。



1AFACAAAP064A



1AFAEAAAP064C

◆ ミッションオイル

- 機体水平状態で検油プラグ位置まであるか点検してください。
- 不足している場合は，クボタ純オイルを補充してください。
  (NEW UDT 又はスーパー UDT，スーパー UDT-2)

◆ エアクリーナ

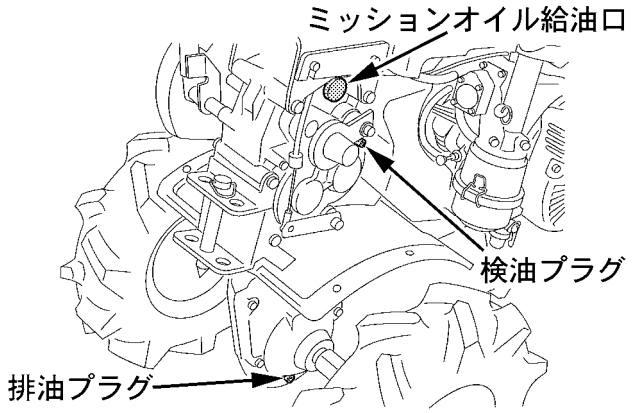
- オイルパンの規定線（**OIL LEVEL**）まであるか点検してください。
- 不足している場合は，エンジンオイルを補充してください。
- オイルパンのオイルが汚れていないか点検してください。
- エアクリーナエレメントにゴミが付着していないか点検してください。

◆ 車輪

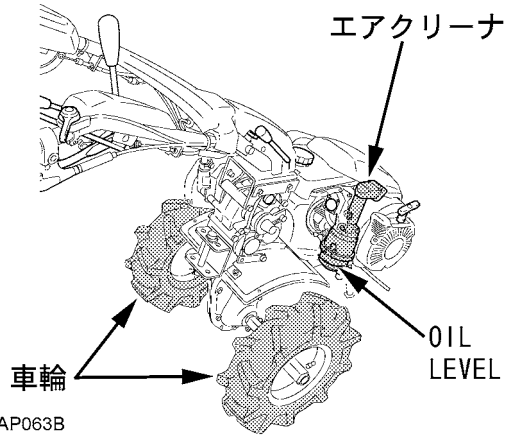
- 空気が抜けていないか，また損傷がないか点検してください。

◆ その他

- エンジン，ミッションなどから油もれがないか点検してください。
- 各しゅう動部へエンジンオイルを注油してください。
- 各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検してください。



1AFAEAAAP062B



1AFAEAAAP063B

重　要

＊ 水やごみを混入しないようにしてください。

安全に作業するために

警 告

＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引起こす原因になります。
＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
＊ タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

◆ 主クラッチレバー
フィンガーレバー
ＰＴＯ クラッチレバー
操向クラッチレバー
- クラッチの**［入］･［切］**が確実に行なえるか点検してください。
- フィンガーレバーのローラ部の清掃をこまめに行なってください。
- 不良の場合は調整・注油してください。
- **［S］，［SC］**仕様は操向クラッチの左右の**［入］･［切］**が確実に行なえるか点検してください。

◆ 主変速レバー
- 変速が案内板の表示位置で確実に行なえるか点検してください。

◆ 後進ケンセイボルト
- 後進ケンセイボルトの状態を確認してください。

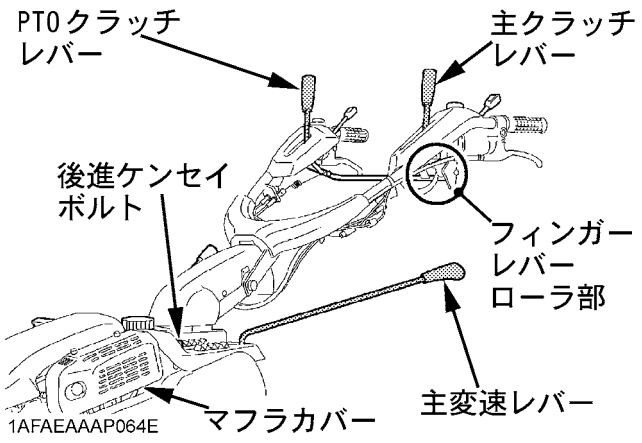
◆ PTO ケンセイ金具
- PTO ケンセイ金具が確実に作動しているか点検してください。

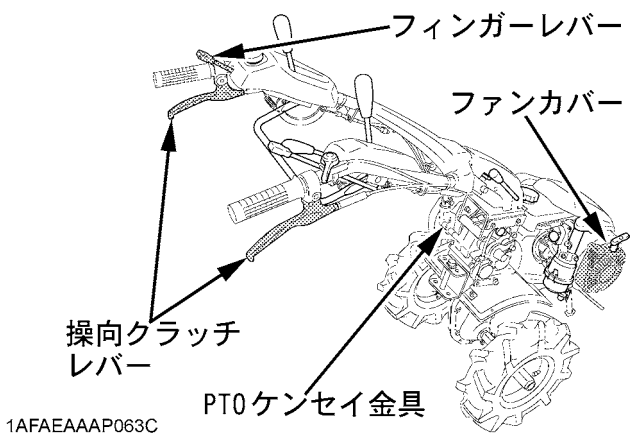
◆ 電気配線
- 被覆が溶けたり被れていないか，また配線がはさまれていないか点検してください。

◆ エンジン周辺部
- ファンカバーやマフラカバー内にゴミやワラクズの付着がないか点検してください。

◆ 燃料（ガソリン）
- タンクや燃料パイプからガソリンもれがないか点検してください。もれがある場合は，修理点検してください。
- 自動車用レギュラガソリンを補給してください。
- タンク容量……規定量（赤ゲージ位置）以上入れないようにしてください。
- 給油後，ガソリンがもれないよう確実に燃料キャップを締めてください。

◆ タイヤ
- 空気が抜けていないか，また，損傷がないか点検してください。
- 適正空気圧…… K 仕様 (3.50-7) 120kPa(1.2kgf/cm²)
  J 仕様 (4.00-7) 120kPa(1.2kgf/cm²)
  W仕様(16×7.00-8) 140kPa(1.4kgf/cm²)





運転のしかた

新車時の扱いかた

■ならし運転（最初の 10 時間まで）
この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用はさけ無理をさせないようにしてください。

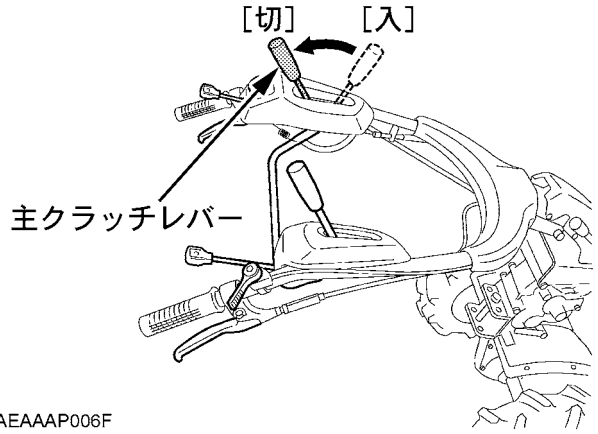
エンジンの始動と停止のしかた

■始動のしかた

注 意

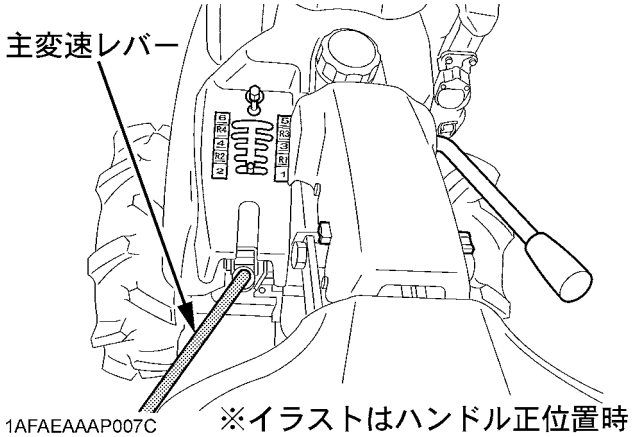
＊ マフラの排気出口方向に，燃えやすい物を置かないでください。火災が発生する原因となります。
＊ リコイルスタータを引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。
＊ エンジンの運転中は，危険ですから操作レバー以外の物（マフラなど）には，触れないでください。ヤケドや傷害のおそれがあります。
＊ 夜間作業はしないでください。
＊ エンジンを始動するときは，主クラッチレバーを必ず［切］にしてください。
＊ 主変速レバーを［中立］にしてください。

1. 主クラッチレバーを **［切］** にします。



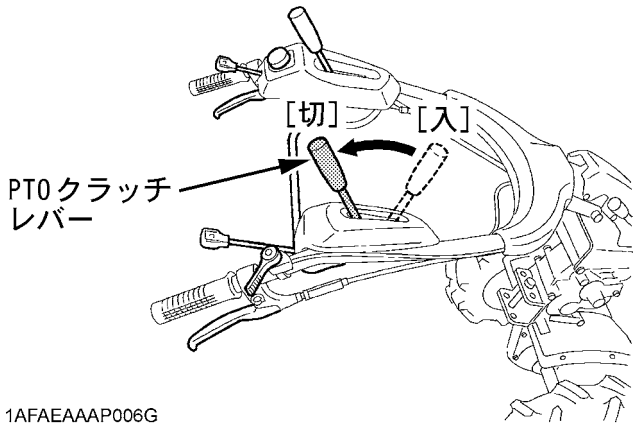
1AFAEAAAP006F

2. 主変速レバーを **［中立］** にします。



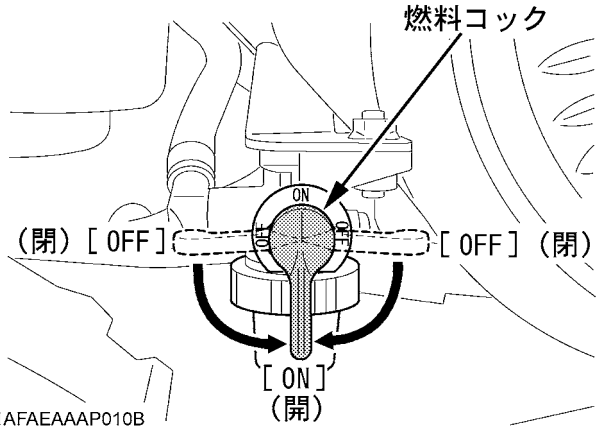
1AFAEAAAP007C ※イラストはハンドル正位置時

3. PTO クラッチレバーを **［切］** にします。



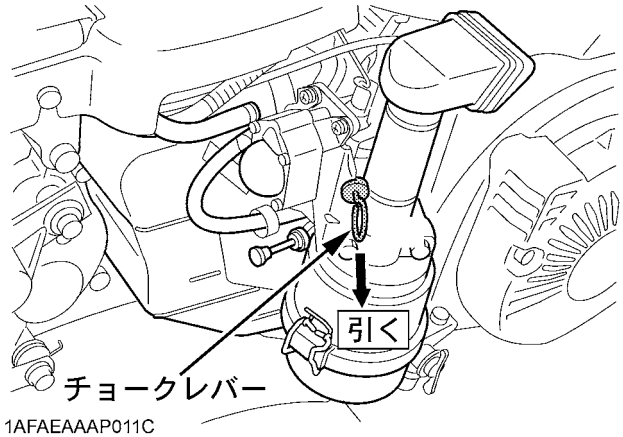
1AFAEAAAP006G

4. 燃料コックを **［ON］（開）** にします。



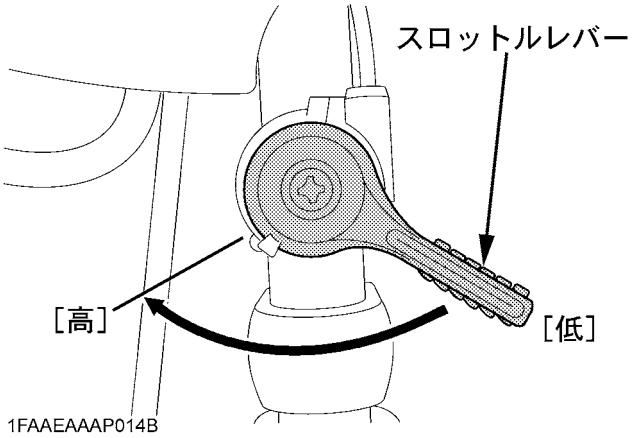
1AFAEAAAP010B

5. チョークレバーを引きます。



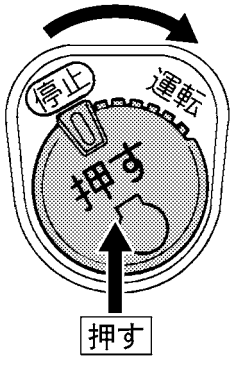
1AFAEAAAP011C

6. スロットルレバーを**【高】**にします。



1FAAEAAAP014B

7. エンジンスイッチを押しながら**【運転】**位置まで回します。



1AFACAAAP059B

8. リコイルスタータハンドルを握って，引張ります。
   エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻します。
9. エンジンの運転状態を確認しながら，チョークレバーを徐々に**【開】**の位置に戻します。
10. ２～３分暖気運転をしてから，作業を始めます。

重　要

＊ 運転中はリコイルスタータを引かないでください。

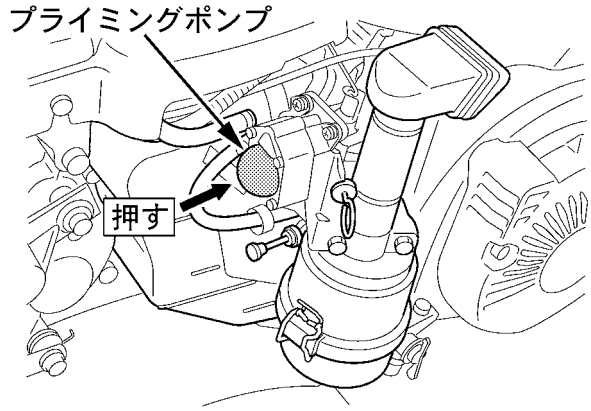
■プライミングポンプの操作のしかた

エンジンへの燃料供給に，プライミングポンプを採用しています。
下記の条件のときに，プライミングポンプを操作します。

- 初めて燃料を入れて始動するとき。
- 燃料切れでエンジンが停止して，再び給油したとき。
- 長期保管後。

◆ 操作のしかた

プライミングポンプを数回くり返してゆっくり押します。



1AFAEAAAP011B

補　足

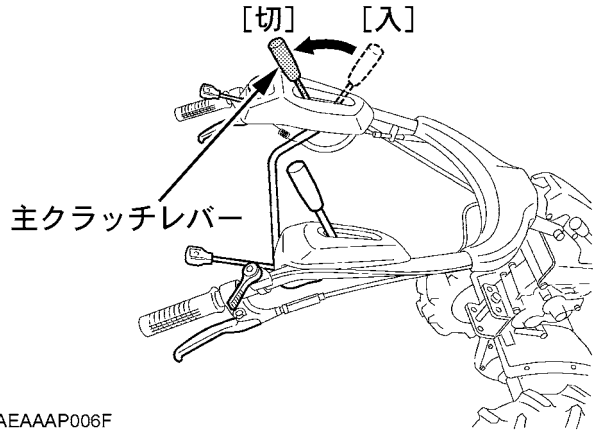
＊ 通常のエンジン停止後の始動には，プライミングポンプの操作は不要です。

■停止のしかた

警　告

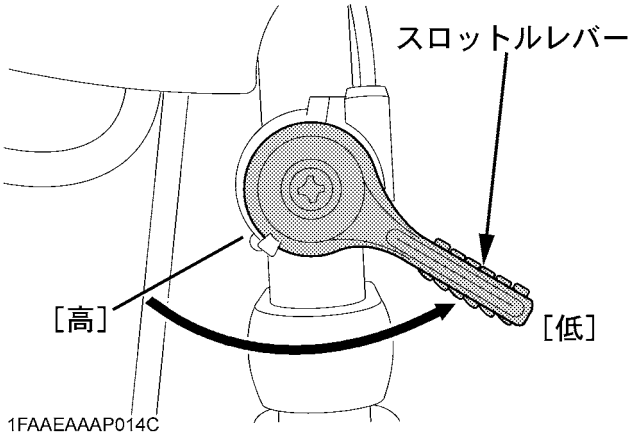
＊ 停止直後はしばらくマフラが熱くなっています。手を触れないでください。ヤケドのおそれがあります。

1. 主クラッチレバーを**【切】**にします。



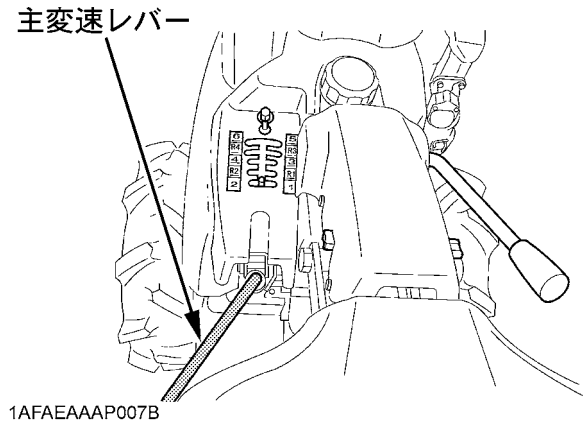
1AFAEAAAP006F

2. スロットルレバーを**【低】**にします。



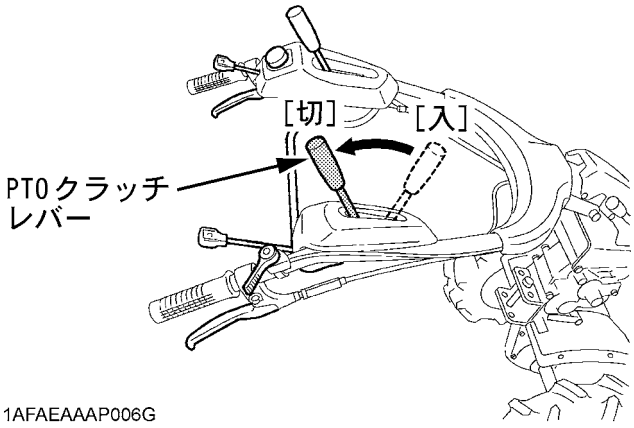
1FAAEAAAP014C

3. 主変速レバーを**【中立】**にします。



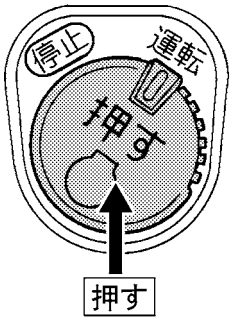
1AFAEAAAP007B

4. PTO クラッチレバーを**【切】**にします。



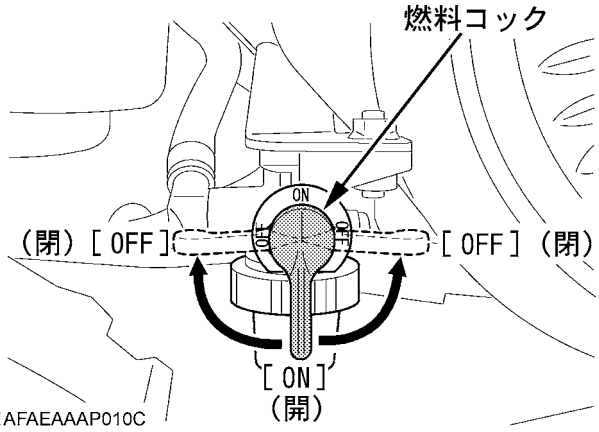
1AFAEAAAP006G

5. エンジンスイッチを押すと左に回って**【停止】**位置に戻り，エンジンが停止します。



1AFACAAAP059C

6. 燃料コックを**【OFF】（閉）**にします。



1AFAEAAAP010C

重　要

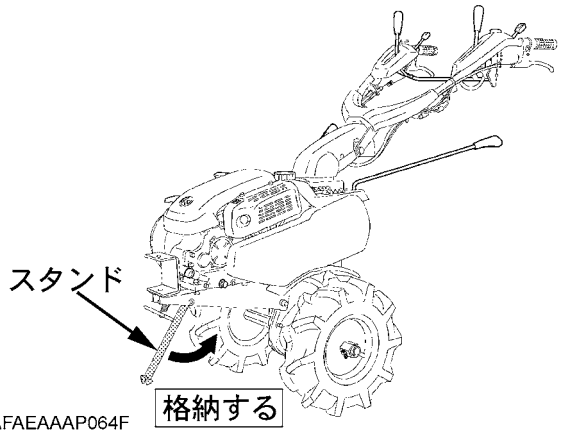
＊ コックを開いたままの状態で保管したり，車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。
また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

発進のしかた

警　告

＊ 運転中は周囲に人を近づけないでください。傷害事故のおそれがあります。
＊ 傾斜地での運転や後進するときなどは，ハンドルが持上がり，体や首をはさまれるなどのおそれがありますので，主クラッチをゆっくり操作してください。
＊ 狭い場所での運転や後進の運転については，エンジンの回転を低速にし，後方や上方など周りの安全を確かめゆっくりと主クラッチ操作をしてください。
＊ 後進ケンセイが確実に作動するか確認してください。
＊ 後進ケンセイしている変速位置には，無理にレバー操作をしないでください。
＊ ロータ装着時は後進禁止です。

1. スタンドを格納します。



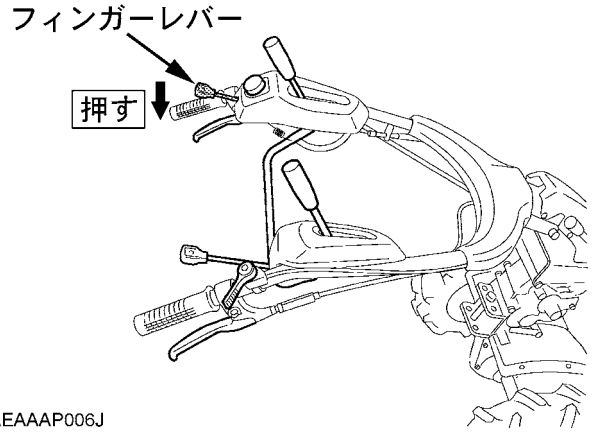
1AFAEAAAP064F

2. 主クラッチレバーが**【切】**の位置にあることを確認した後，主変速レバーを必要な変速位置にします。

3. 主クラッチレバーを**【入】**にして発進します。

補　足

＊ フィンガーレバーを下に押すと，ハンドルを握ったまま主クラッチを入れることができます。



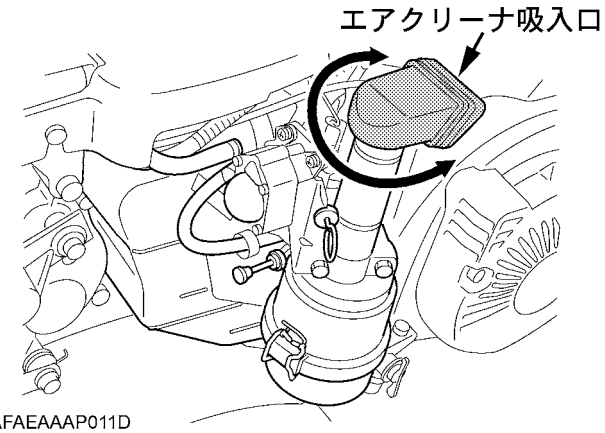
1AFAEAAAP006J

4. スロットルレバーを操作して速度を調整します。

各部の調節

■エアクリーナの調節

エアクリーナの吸込口が回動します。作業に応じ，チリやホコリの少ない方に吸込口の向きを変えてください。



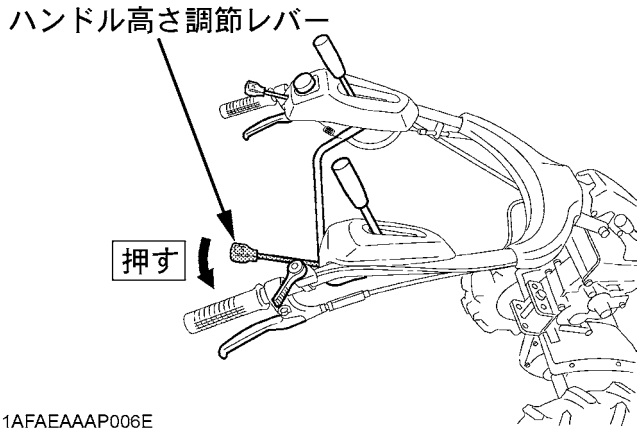
1AFAEAAAP011D

■ハンドル高さの調節

注 意

＊ 単体のとき…
ハンドル高さ調節レバーの操作は，必ずスタンドを立てて行なってください。
＊ ロータリ付きのとき…
ロータリを持上げているときは，危険なため操作はしないでください。
＊ 走行時・作業時…
危険のため操作はしないでください。
＊ 操作するときは必ず主クラッチを切り，周囲を確認すると共にゆっくり操作し，操作後はハンドルが確実に固定されているか確認してください。

ハンドルの高さは 4 段の調節ができます。
1. ハンドル高さ調節レバーを押すとハンドルが上下に自由に動きます。
2. ハンドル高さ調節レバーを離すと固定されます。このときハンドルが固定されていることを確認してください。



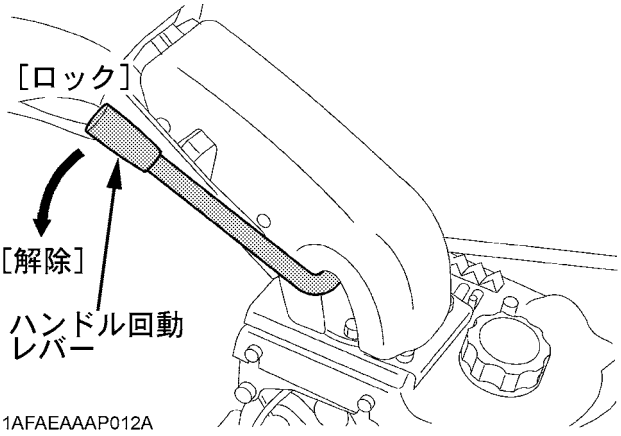
1AFAEAAAP006E

■ハンドルの回動

警 告

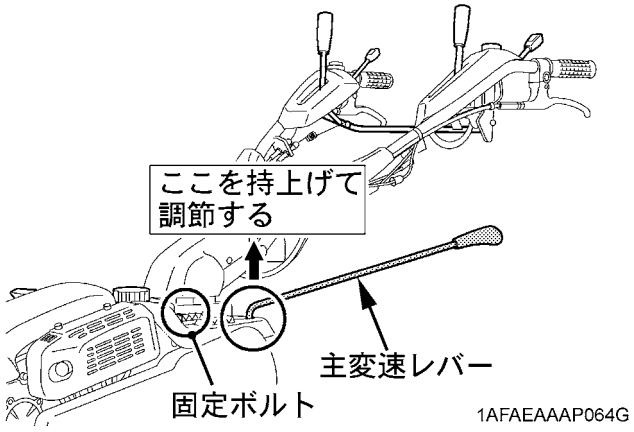
＊ エンジンを必ず停止し，平坦な場所にスタンドを立て，安定させて行なってください。
＊ 各レバーが正常に動くか確認してください。
＊ ハンドルを逆位置にしたときは必ず後進ケンセイボルトを銘板の［逆］印の位置にして固定します。
＊ ハンドルを正位置に戻したときは，後進ケンセイボルト及び PTO ケンセイ金具の位置も，元（[正］位置）に戻してください。
＊ ハンドルを逆位置にしたときは，操向クラッチを必ず切替えてください。

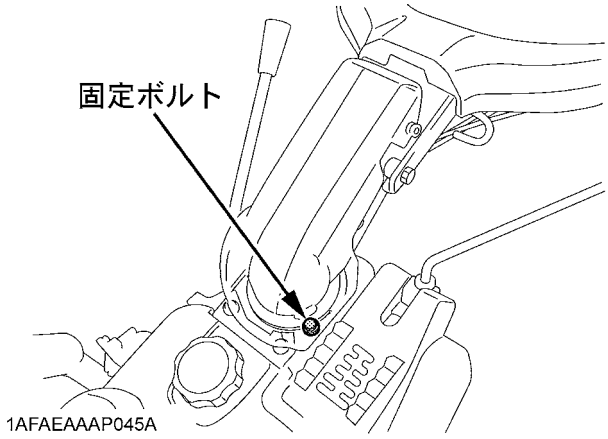
1. ハンドル回動レバーを矢印方向に操作することにより，ハンドルを正位置又は逆位置に回動することができます。また，ハンドルが正位置で右側へ２段，左側へ１段，角度調節することができます。(ハンドル逆位置の場合は左右に１段のみ)



1AFAEAAAP012A

2. 主変速レバーの根元を持上げて，ハンドルを調節した位置に合せてセットします。





補　足

＊ ハンドル **【正】** 位置及び **【逆】** 位置の中央位置で長期間使用するときは，必ず固定ボルトを締付けて使用してください。
(固定ボルトは付属品の中に入っています)

■ハンドルの逆向き

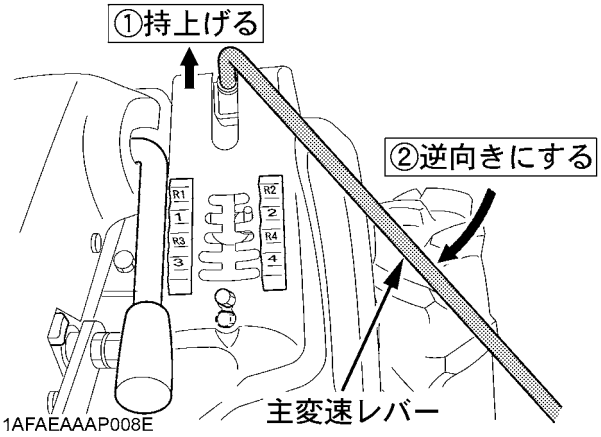
警　告

＊ エンジンを必ず停止し，平坦な場所にスタンドを立て，安定させて行なってください。
＊ 各レバーが正常に動くか確認してください。
＊ ハンドルを逆位置にしたときは必ず後進ケンセイボルトを銘板の［逆］印の位置にして固定します。
＊ ハンドルを正位置に戻したときは，後進ケンセイボルト及び PTO ケンセイ金具の位置も，元（[正］位置）に戻してください。
＊ 操向クラッチは必ず切替えてください。

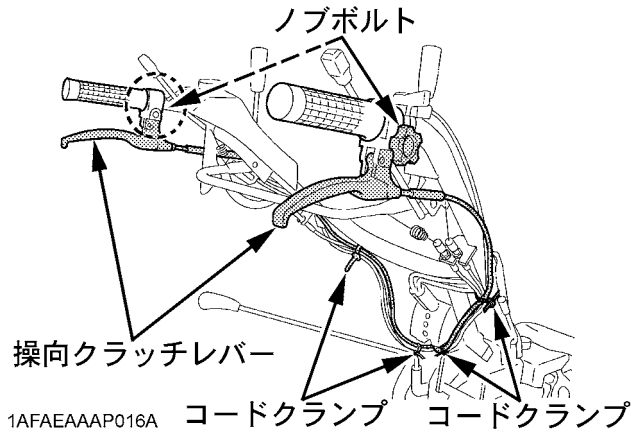
◆ ハンドル［正］位置から［逆］位置への切替え

[S 仕様]

1. 主変速レバーを **【中立】** にします。
2. 主変速レバーの根元を持上げて逆向きにします。



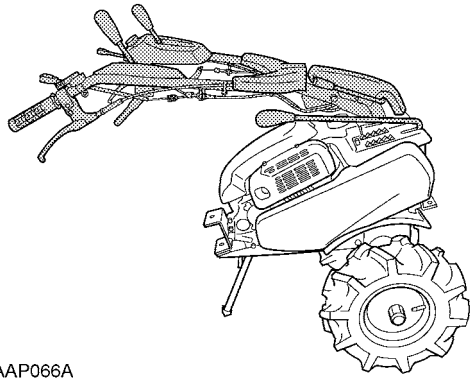
3. コードクランプを外します。
4. ノブボルトをゆるめて操向クラッチレバーとケーブルを外します。



1AFAEAAAP016A

5. 操向クラッチレバーとケーブルを同時に左右入替え，取付けノブボルトを締付けます。
6. ハンドル回動レバーを**【解除】**方向に操作し，ハンドルを反時計方向（エアクリーナ側）へ回転し逆向きにします。

［ハンドル逆位置状態］

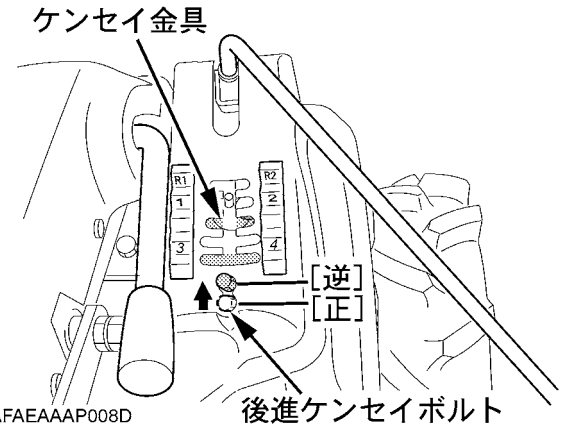

1AFAEAAAP066A

重　要

＊ 回動するとき，ケーブル類が引っ掛からないように，ゆっくり行なってください。
＊ ハンドルは反時計方向に回動してください。逆に回動すると機械が破損することがあります。

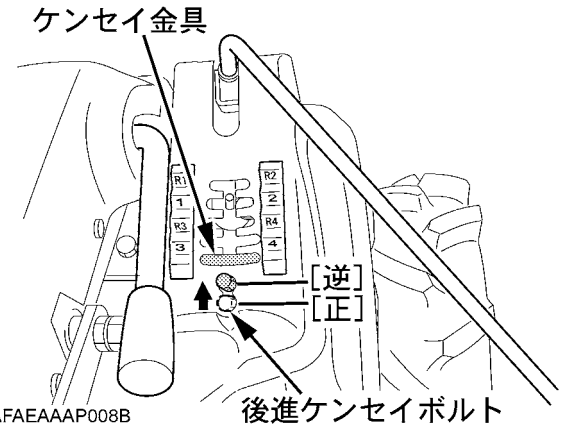
7. ハンドル回動レバーを**【ロック】**位置に戻します。
8. コードクランプ（4 箇所）を取付けます。
9. 後進ケンセイボルトを**【逆】**位置にして固定します。

［TA500］



1AFAEAAAP008D

［TA700・TA800］



1AFAEAAAP008B

［S 仕様］

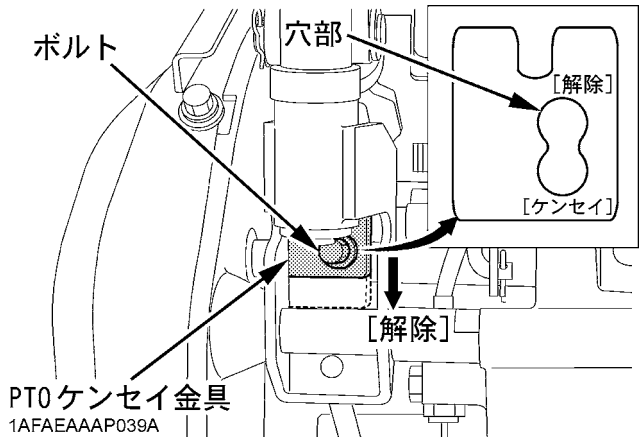
補　足

＊ ハンドル**【逆】**位置の状態で前進で作業する場合，PTO クラッチレバーが**【入】**位置に入りますが PTO クラッチは入りません。
この場合，下記手順に従って PTO ケンセイ金具を解除してください。

1. 主変速レバーを**【中立】**位置にします。
2. ボルトをゆるめ，PTO ケンセイ金具の取付け位置を下に下げて固定します。

重　要

＊ ボルトを締付けるときは，必ずボルトの段付部を PTO ケンセイ金具の穴部に入れてください。

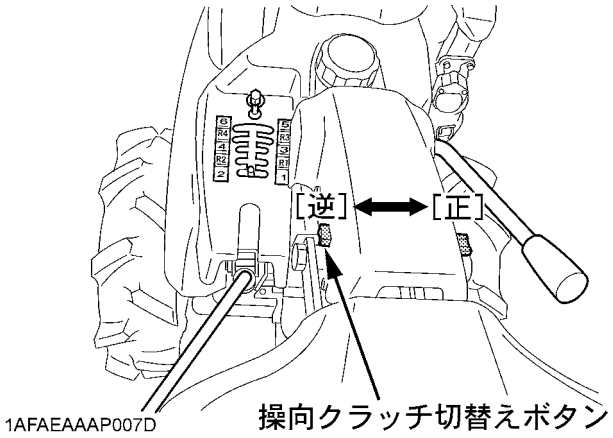


警　告

＊ ハンドルを［正］位置に戻して作業する場合は，必ず PTO ケンセイ金具を元の位置に戻して PTO ケンセイ金具をセットしてください。
さもないと，後進時にロータリが回転し，傷害事故を引起こすおそれがあります。

［SC 仕様］

1. 操向クラッチレバーが戻っていることを確認し，操向クラッチ切替えボタンを**【逆】**位置へ切替えます。



2. ハンドル回動レバーを**【解除】**方向に操作し，ハンドルを反時計方向へ回転し逆向きにします。

重　要

＊ 回動するとき，ケーブル類が引っ掛からないように，ゆっくり行なってください。
＊ ハンドルは反時計方向に回動してください。逆に回動すると機械が破損することがあります。

3. ハンドル回動レバーを**【ロック】**位置に戻します。
4. 主変速レバーを**【中立】**にします。
5. 主変速レバーの根元を持上げて逆向きにします。
6. 後進ケンセイボルトを**【逆】**位置にして固定します。

［SC 仕様］

[S, SC 仕様以外]

1. ハンドル回動レバーを**【解除】**方向に操作し，ハンドルを反時計方向へ回転し逆向きにします。

重　要

＊ 回動するとき，ケーブル類が引っ掛からないように，ゆっくり行なってください。
＊ ハンドルは反時計方向に回動してください。逆に回動すると機械が破損することがあります。

2. ハンドル回動レバーを**【ロック】**位置に戻します。
3. 主変速レバーを**【中立】**にします。
4. 主変速レバーの根元を持上げて逆向きにします。
5. 後進ケンセイボルトを**【逆】**位置にして固定します。

[S, SC 仕様以外]

◆ ハンドル［逆］位置から［正］位置への切替え

正方向にハンドルを戻すときは，逆の手順で戻してください。

警　告

＊ PTO ケンセイ金具を解除している場合は，元に戻してください。

■車輪幅の調節，車輪交換のしかた

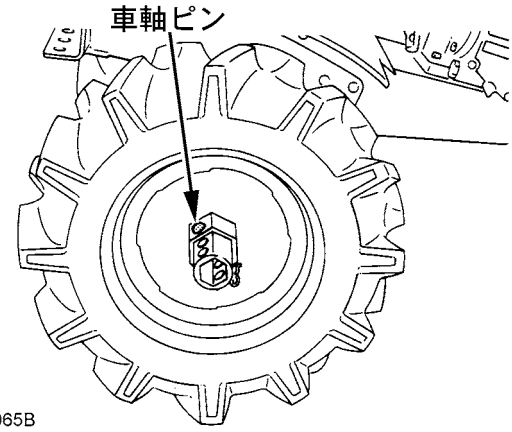
警　告

＊ 輪距の調節時は，固い地面の平坦で安定した場所に停止してください。
＊ エンジンを必ず停止してください。傷害事故のおそれがあります。

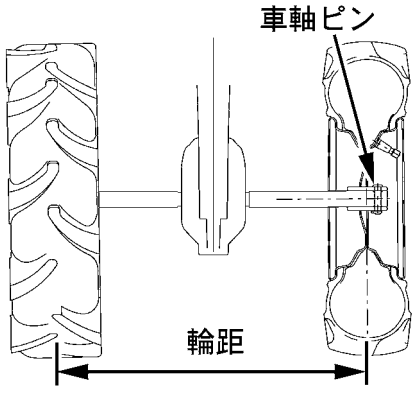
重　要

＊ ほ場以外での移動時は必ずタイヤを装着してください。(ロータ，鉄車輪などでのほ場外移動はしないでください。)
機械の故障の原因となります。

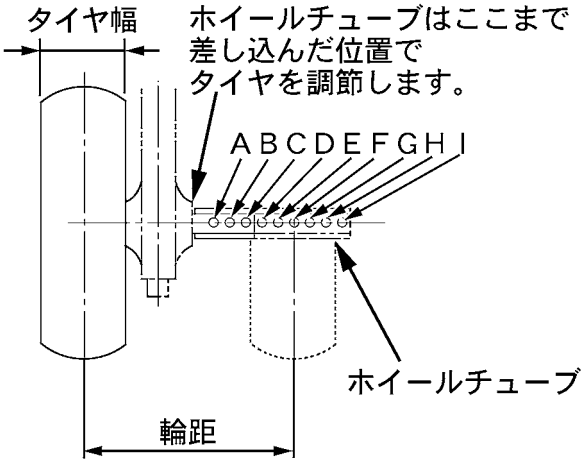
作業条件に応じて，車輪間隔調節と車輪交換は次のとおり行ないます。
車輪ハブと六角ホイールチューブは，車軸ピン１本で取付けてありますので，ピンを抜いて，調節や交換を行なってください。



1AFAEAAAP065B



1AFAEAAAP046A



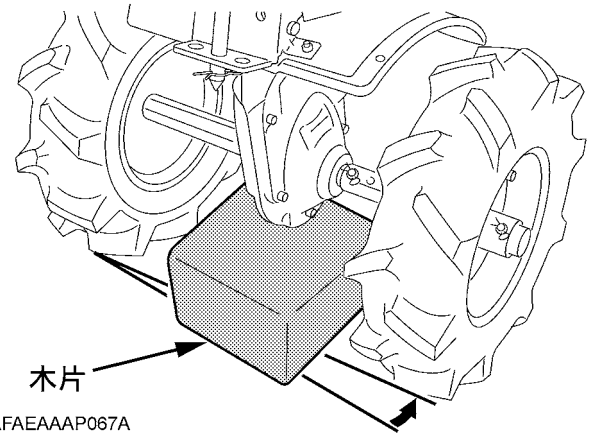
1AFAEAAAP044A

タイヤサイズ	3.50-7 (K 仕様)		4.00-7 (J 仕様)	16 × 7.00-8 (W 仕様)
	S なし仕様	S 付き仕様		
ピン位置	輪距 [mm]			
A	—			
B	—			
C	—	190	190	—
D	200	240	240	265
E	250	290	290	315
F	—		340	365
G	—		390	415
H	—		440	465
I	—		490	515
タイヤ幅	99		111	180

※タイヤサイズ 3.50-7 はピン穴が 5 個です。

◆ 車輪幅の調節・交換の注意

固い地面にて丈夫な木片を用い, 機体を安定させてから行なってください。



1AFAEAAAP067A

上手な作業のしかた

下記手順を守り，安全作業に心掛けてください。

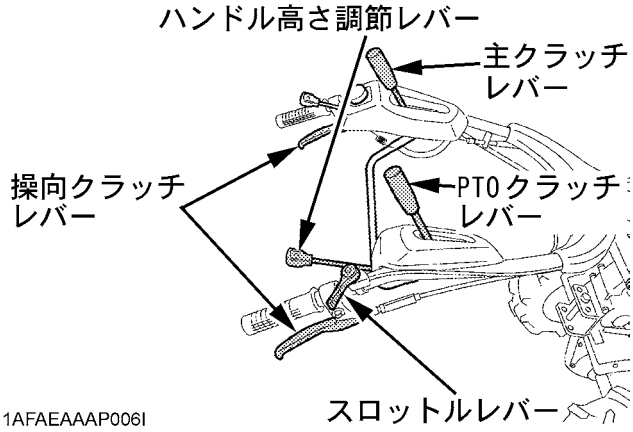
■耕うん作業手順

1. 主クラッチレバーを**【切】**位置にします。
2. ハンドル高さ調節レバーを押し，作業しやすい位置にハンドル高さを調節します。
3. 主変速レバーを作業に応じた位置に入れます。
4. スロットルレバーでエンジン回転を調整します。
5. 主クラッチレバーを**【入】**・PTO クラッチレバーを**【入】**にし，発進します。

■旋回手順

◆ ハンドル［正］位置

1. スロットルレバーを**【低速】**にします。
2. PTO クラッチレバーを**【切】**にして，ロータリ回転を止めます。
3. ハンドルを持上げ, 操向クラッチレバーの**【左右】**の曲がりたい方向を握り旋回します。
4. 旋回後，操向クラッチレバーを離し，ハンドルを押下げ，PTO クラッチレバーを**【入】**にして作業を行ないます。
5. 上記**【耕うん手順】**の手順で作業を行ないます。(操向クラッチレバー無し仕様の場合は, ハンドルを持上げ，振って旋回します)



1AFAEAAAP006I

◆ ハンドル［逆］位置

ハンドル逆向きで旋回の場合は, ハンドル高さ調節レバーによりハンドル位置を上げて, ハンドルを押下げ, 曲がりたい方向の操向クラッチレバーを握り旋回します。(操向クラッチレバー無し仕様の場合は，ハンドルを押上げ振って旋回します)

他の手順はハンドル**【正】**位置と同じです。

管理機の簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について

警 告

廃棄物をみだりに捨てたり，焼却しないでください。環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは
＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者などに相談して，所定の規則に従って処理してください。

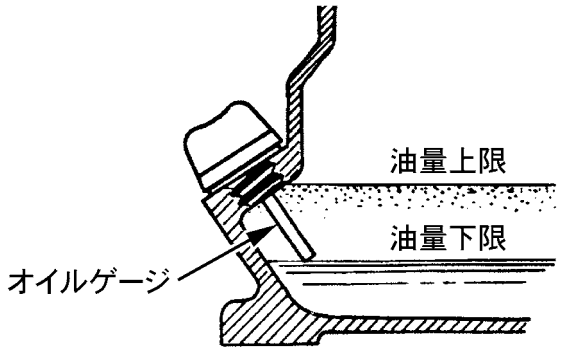
日常の手入れ

注 意

＊ 給排油・点検・調節・清掃は，エンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。
＊ 平坦な場所に機械を安定させて行なってください。

■エンジンオイルの交換

◆ 給油のしかた
エンジンを水平にして，オイルゲージを用いて，規定量まで入れます。

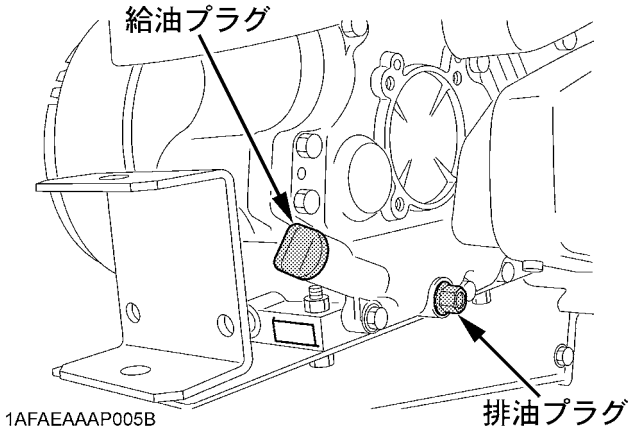


1AFACAAAP064A

◆ 排油のしかた
機体を水平に安定させ排油プラグを外し，排油します。

重 要

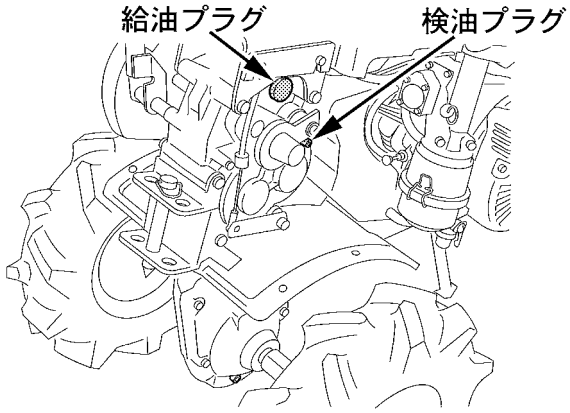
＊ 粗悪なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイルスーパー G　10W-30 とご指定の上，お求めください。(次頁の**オイルの点検と交換表**を参照)
＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。



1AFAEAAAP005B

■ミッションオイルの交換

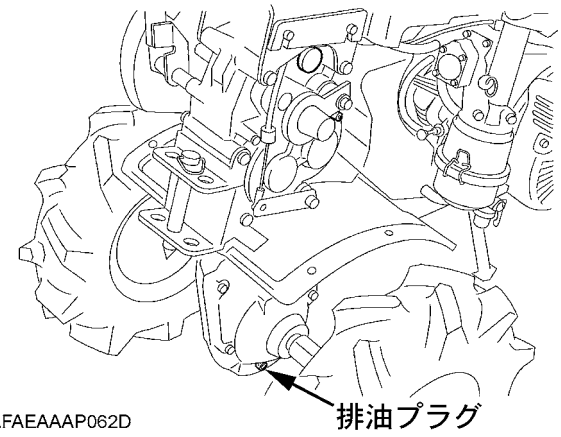
◆ 給油のしかた
機体を水平にし，検油プラグまで給油します。



1AFAEAAAP062C

◆ 排油のしかた

ミッションオイル排油プラグを外して排油します。



1AFAEAAAP062D

重　要

＊ 粗悪なオイルを使用しますと，機械の寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイル NEW UDT 又はスーパー UDT，スーパー UDT-2 とご指定の上，お求めください。(下記の**オイルの点検と交換表**を参照)

＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。

＊ オイルを交換する場合は，ケース内のゴミも同時に排出させるために，オイルが暖まっている状態のとき排出してください。

オイルの点検と交換表

型式名		TA500	TA700	TA800
エンジンオイル	オイル量	0.55L	0.6L	0.6L
	点検方法	機体水平		
	交換第１回目	20 時間使用後		
	交換第１回目以後	50 時間使用後		
	オイルの種類	クボタ純オイル（ガソリンエンジン用）スーパー G 10W-30		
ミッションオイル	オイル量	2.4L		
	点検方法	機体水平		
	交換第１回目	20 時間使用後		
	交換第１回目以後	年１回		
	オイルの種類	クボタ純オイル NEW UDT 又はスーパー UDT，スーパー UDT-2		

■エアクリーナエレメントの清掃とオイル交換

1. エレメントは時々白灯油で洗い，エンジンオイルを塗布して，よく振切ってから取付けてください。
2. オイルパンはよく洗浄し，新しいエンジンオイルを規定量入れてください。
   - 規定量……**OIL LEVEL** と記載されているところ

重　要

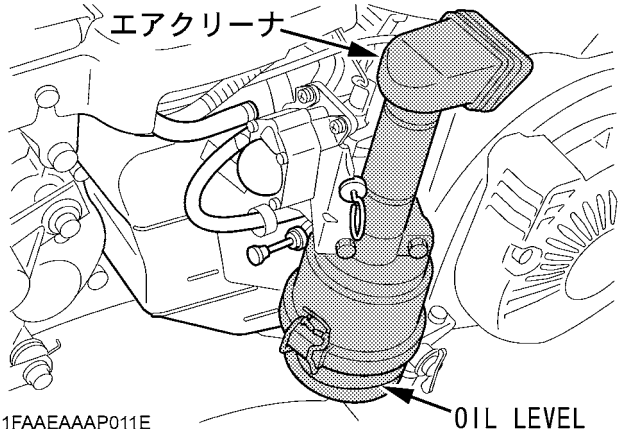
＊ エアクリーナを取外したままエンジンを運転しないでください。ゴミやホコリを吸込み，エンジン不調やエンジン異常摩耗の原因となります。

＊ 汚れたまま使用しますと，エンジンの出力低下や故障の原因になります。

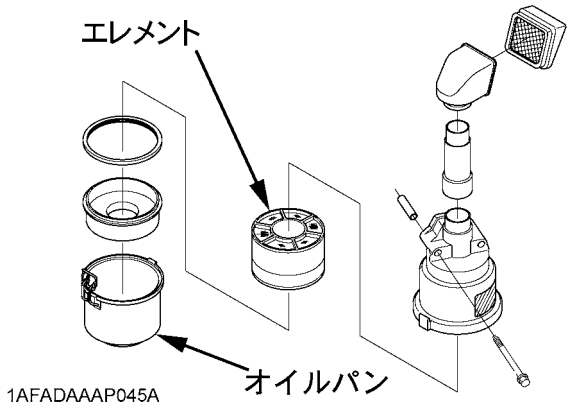
エレメント（オイル）	清掃	通常	50 時間ごと
		ホコリの多い場合	毎日
	交換	汚れがひどいとき	

＊ チリやホコリが多く発生する土入れ作業などで使用する場合は，
(1) ホコリの少ない方向にエアクリーナ吸込口を向けてください。
(2) 毎日点検してください。

＊ 規定量よりエンジンオイルを入過ぎると，エンジン不調の原因となります。



1FAAEAAAP011E



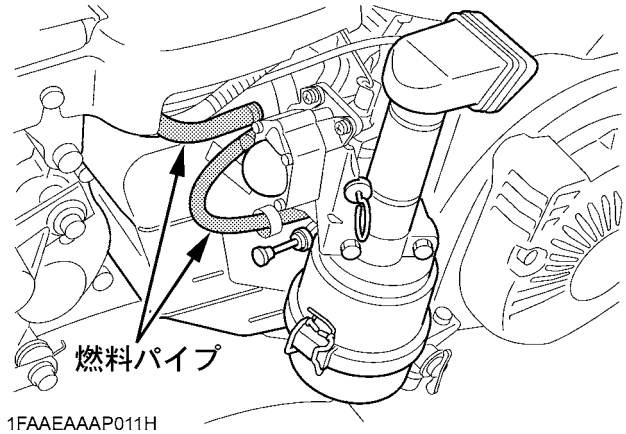
1AFADAAAP045A

■燃料パイプの交換

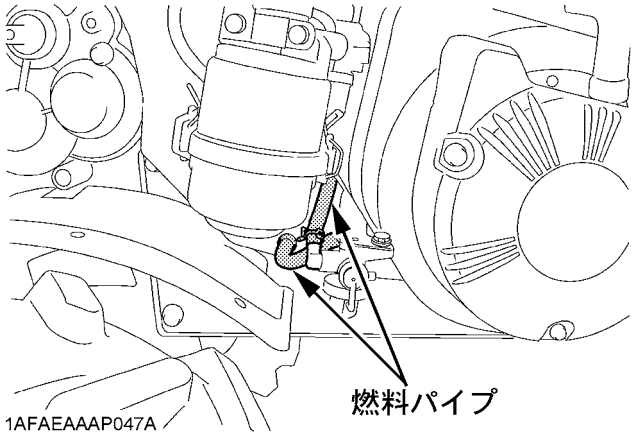
警　告

＊ 燃料パイプは自然劣化したり傷があると，ガソリンもれして火災の原因となります。作業前に毎回点検し，ヒビや割れが発生したものは，新しい燃料パイプと交換してください。

交　換	2年間ごと



1FAAEAAAP011H



1AFAEAAAP047A

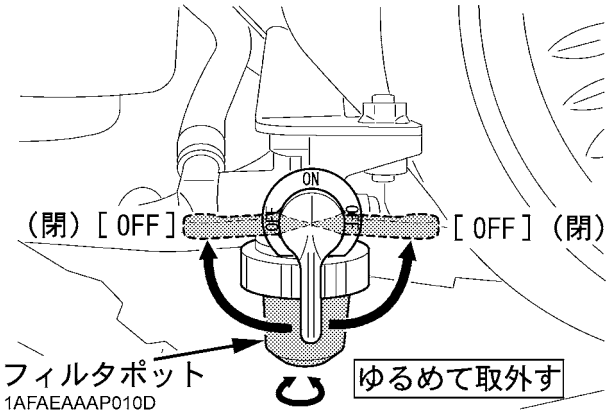
■燃料フィルタの清掃

注　意

＊ 取付け後，ガソリンもれがないか確認してください。

1. 燃料フィルタは，燃料のゴミを取除きます。取除かれたゴミは，ポットの底にたまります。
2. 燃料コックレバーを【OFF】にし，フィルタポットを外し，ポットの底にたまっているゴミや水を捨てます。
3. 燃料タンク内を点検し，底に異物がたまっている場合は，取除いてください。

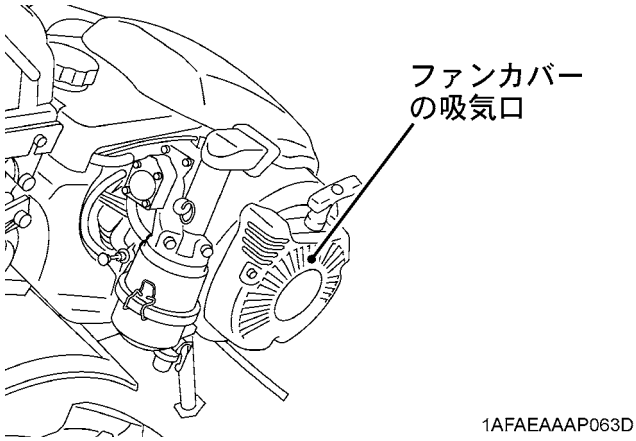
100時間使用ごと	フィルタの清掃
300時間使用ごと	タンクの清掃



1AFAEAAAP010D

■ファンカバーの清掃

ファンカバーの吸気口は，きれいに清掃します。ゴミやワラくずなどの付着があるとエンジンの過熱や出力低下の原因になります。(ここからエンジンの冷却風が吸込まれます。)



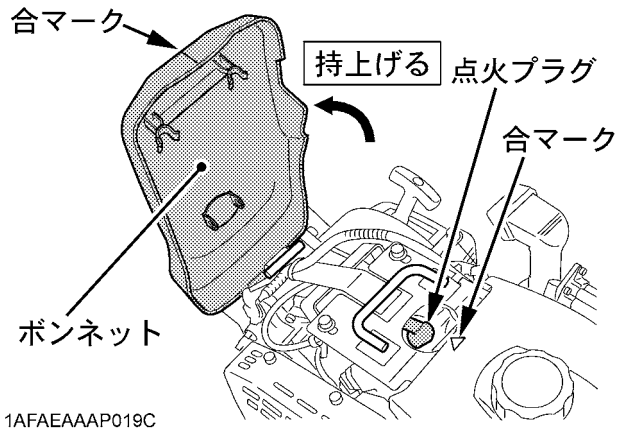
1AFAEAAAP063D

■点火プラグの調節・清掃・交換

注　意

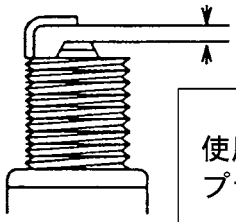
＊ 高温部が冷えてから行なってください。

1. ボンネットに手を掛けて持上げると，ボンネットは外れます。



1AFAEAAAP019C

2. プラグ用ボックススパナでプラグを外して，清掃します。
3. 電極のすき間が 0.6 ～ 0.7㎜ になるように調節します。
4. 点検調節は６ヵ月に１回行なってください。



使用点火プラグ	(NGK)BP6HS

1AFACAAAP051B

5. 作業が終わったら，合マークを合せ，ステーにボンネットフック部を差込んでから，元の位置に戻します。

重　要

＊ プラグ締付け時は，ネジ山をつぶさないように，はじめ手で締込んでから，ボックススパナで締付けてください。
＊ 調節・清掃してもエンジンが不調なときは，新しいプラグと交換してください。
＊ プラグを外したまま始動操作しないでください。

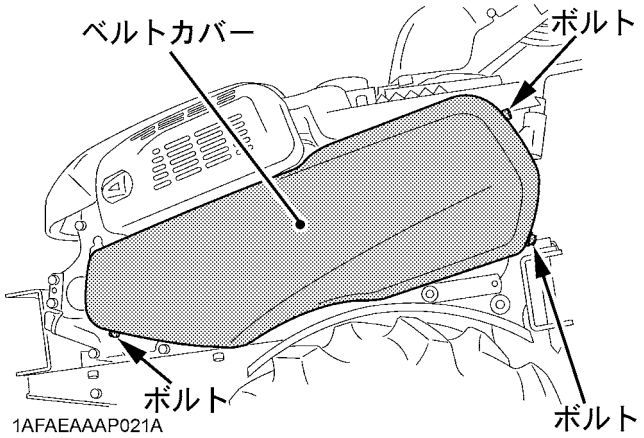
■主クラッチケーブルの調節

警　告

＊ ベルト調節を行なう場合は，必ずエンジンを停止して行なってください。
＊ 調節が終わったら必ずベルトカバーを取付けてください。巻込まれるなど傷害事故を引起こすおそれがあります。
＊ エンジンを始動する前に，主変速レバーを中立にしてください。
＊ 調節・確認時は周囲に人や動物を近づけないでください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

◆ 主クラッチケーブルによる調節

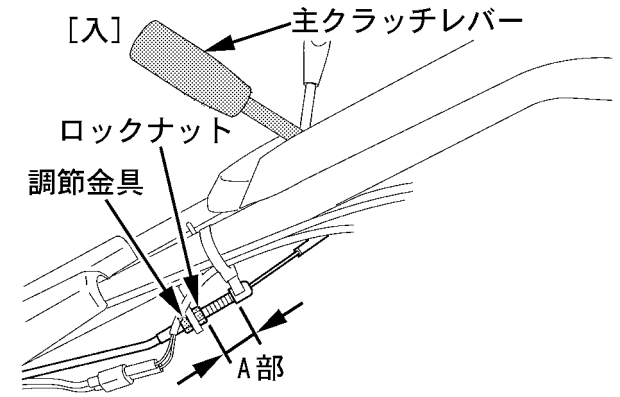
1. ベルトカバーのボルト 3 本を外し，ベルトカバーを取外します。



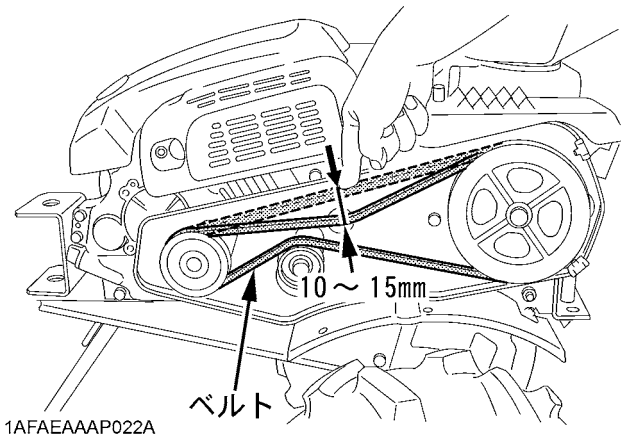
1AFAEAAAP021A

2. 主クラッチレバーを入れた状態で，ベルトの中央部を指で押えて10～15㎜たわむ程度に，ケーブル調節金具でテンションプーリを調節します。なお，使用初期はベルトが伸びやすいため，10時間使用後ケーブルを再調節してください。

ベルトがスリップする場合	調節金具のＡ部を短かくする
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具のＡ部を長くする



1AFAEAAAP025A

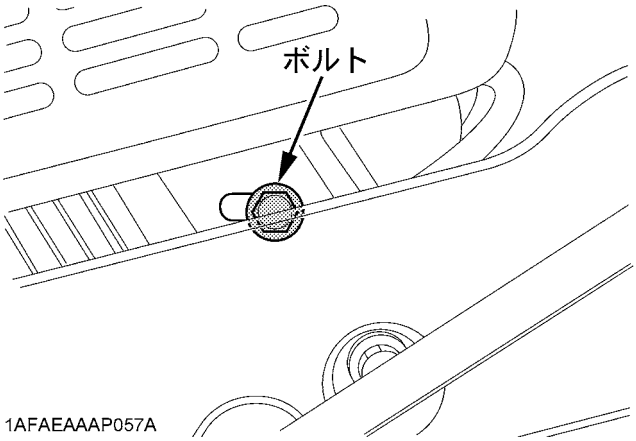


1AFAEAAAP022A

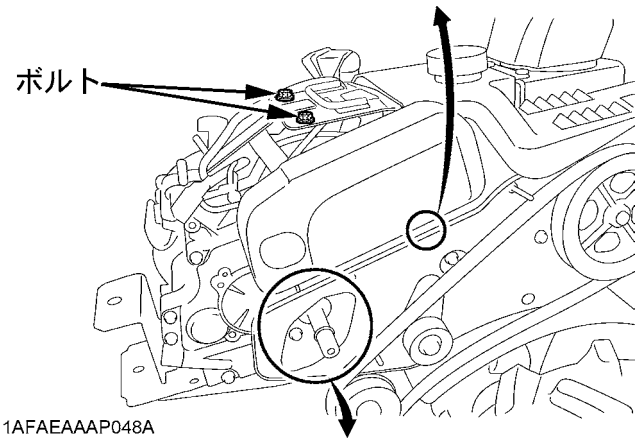
◆ エンジン前後によるベルトの調節

ベルトが伸びたり，又は新しいベルトに取替えたとき，主クラッチケーブルで主クラッチの調節ができない場合は，エンジンを前後に移動して調節します。

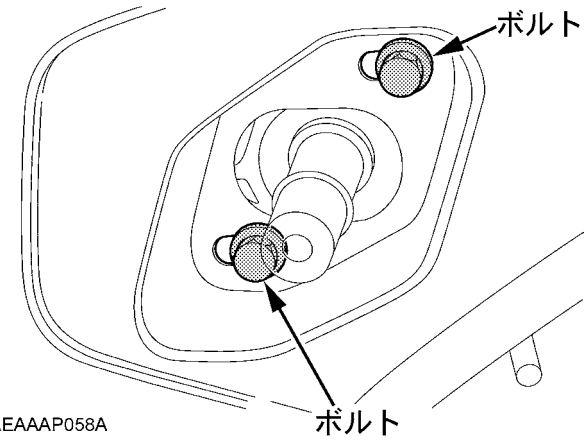
1. ベルトカバーを止めているボルトを外し，ベルトカバーを取外します。
2. エンジンを固定しているボルトをゆるめて調節します。調節後は確実にボルトを締付けてください。



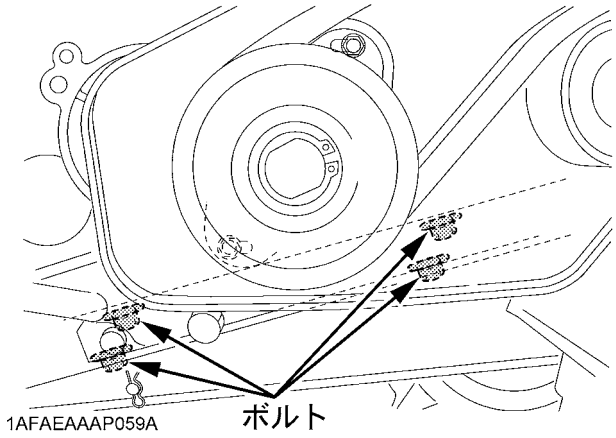
1AFAEAAAP057A



1AFAEAAAP048A



1AFAEAAAP058A



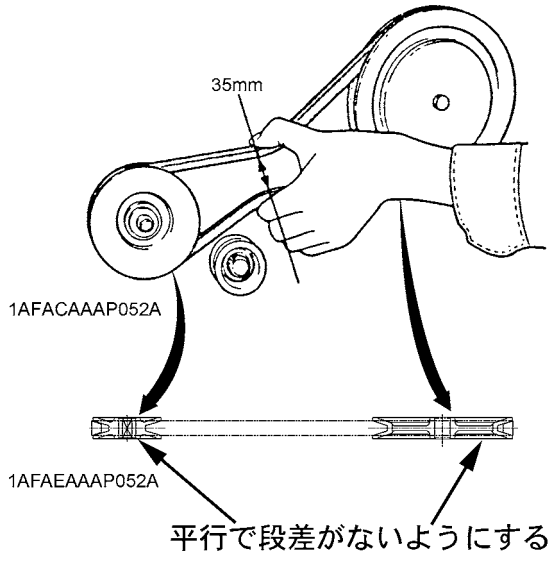
1AFAEAAAP059A

重　要

＊ 主クラッチケーブルを調節した場合，エンジンを始動してクラッチの**［入］・［切］**が確実に作動するか確認してください。

◆ 新しいベルトに交換する場合

新しいベルトに交換する場合は，ベルト中央部を指ではさんですき間が約 35㎜ たわむくらいにして，エンジン固定ボルトを締付けてください。
その際，２つのプーリが平行で段差がないようにエンジンを固定してください。

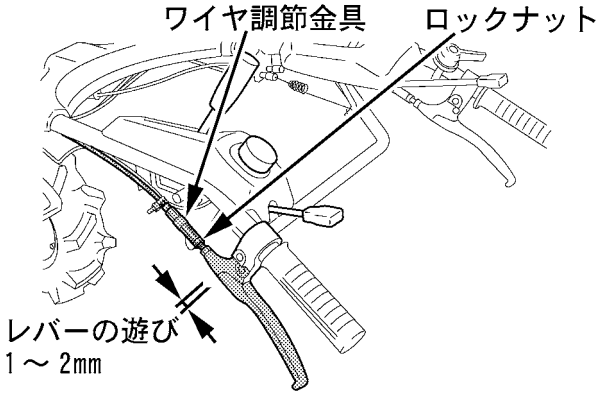


■操向クラッチケーブルの調節

操向クラッチレバーを握っても操向クラッチが切れにくい場合，また操向クラッチレバーを放しても入りにくい場合，及びハンドル逆位置のときに戻りにくい場合は，調節金具のロックナットをゆるめて調節します。

切れにくい場合	調節金具を長くします。
戻りにくい場合	調節金具を短かくします。

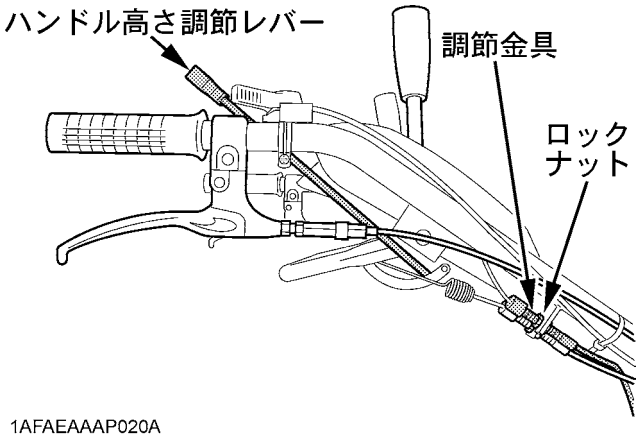
調節後はロックナットを確実に締付けてください。



1AFAEAAAP023A

■ハンドル上下調節

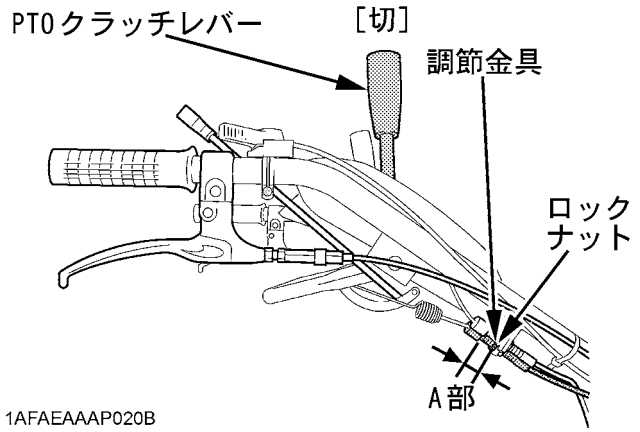
ハンドル高さ調節レバーを押してハンドルが上下に動かない又は調子が悪いときは，ワイヤの調節金具で調節します。ハンドルをセットしたときにプレートの穴にピンが確実に入っていることを確認し，調節金具のロックナットで固定します。



1AFAEAAAP020A

■ PTO クラッチの調整

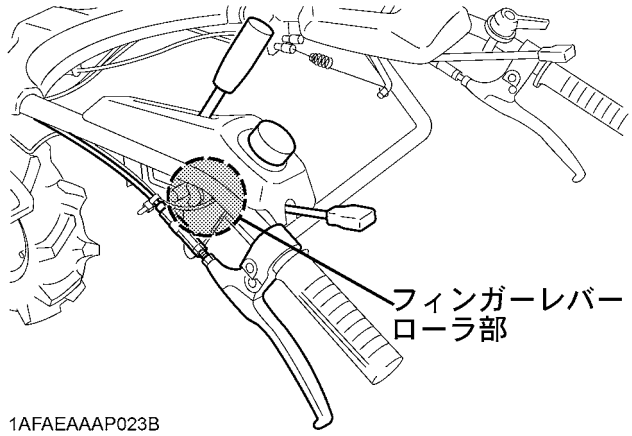
PTO クラッチレバーを【切】にしたとき，ロータリが止まらなかったり，また【入】にしたとき，クラッチが入りにくい場合は，PTO クラッチワイヤの調節金具で調整します。



切れにくい場合	調節金具の A 部を長くします
入りにくい場合	調節金具の A 部を短かくします

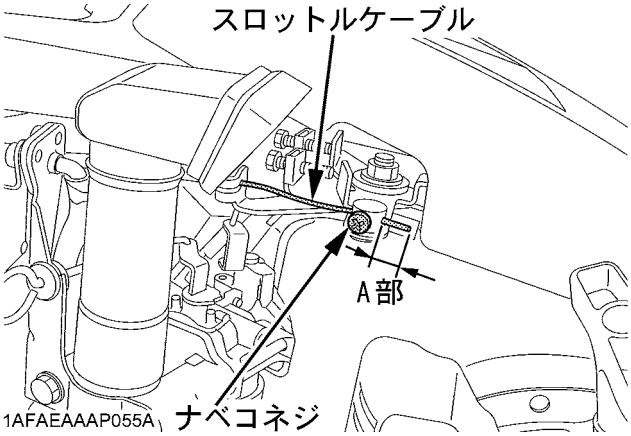
重　要

＊ フィンガーレバーのローラに土が付着した場合は必ず取除いてください。フィンガーレバーの作動不良の原因となります。



■スロットルレバーの調整

スロットルレバーを最高回転にしてもエンジン回転が上がらないときは，スロットルケーブルを止めているナベコネジをゆるめて調整します。
ケーブルの A 部が長くなるように調整すると，エンジン回転が高くなります。
調整に際しては，ご購入先にお問い合せください。



■タイヤ空気圧

警　告

＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引起こす原因になります。
＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
＊ タイヤ，チューブ・リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

空気圧が高すぎても低すぎても，タイヤの寿命を縮めます。定期的に空気圧を調べ，適正になるように調節してください。

適正空気圧	K 仕様 (3.50-7)	120kPa(1.2kgf/cm²)
	J 仕様 (4.00-7)	120kPa(1.2kgf/cm²)
	W仕様 (16 × 7.00-8)	140kPa(1.4kgf/cm²)

空気を入れるには，エアコンプレッサ，又は自動車などのタイヤに空気を入れる高圧手押しポンプを用いてください。

管理機の簡単な手入れと処置

使用後の手入れ

使用後は，必ずその日に清掃を行ない，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部は錆びないように油やグリス及び防錆剤を適宜塗布します。特にファンカバー内にゴミが詰まりますと，エンジンの焼付きなどの原因になりますので，よく点検・清掃を行なってください。

重　要

＊ 水洗いのとき，エアクリーナ吸込口から水が入らないようにカバーをしてください。

■エンジン始動不良を防ぐために

エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めてください。

重　要

＊ コックを開いたままの状態で，保管したり，前に倒したり，また車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

■長期格納時の手入れ

注　意

＊ カバーをかけたり，納屋に格納するときは，エンジンが冷えてからにしてください。火災のおそれがあります。

＊ 燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。爆発・火災のおそれがあります。

1. 主クラッチレバーは**【切】**の位置にして保管します。
2. 燃料タンク・キャブレタ・フィルタポットの中のガソリンは全て抜取ります。（１ヵ月以上使用しないとき）
3. オイルを交換し，各部をきれいに掃除します。
4. エアクリーナエレメントを，掃除します。
5. エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するため，リコイルスタータハンドルを引張って，圧縮位置で止めます。
6. カバーをかけ，湿気や草・ワラ及びホコリのない場所に置きます。

重　要

＊ ほ場に保管していると，地面からの湿気が多いのでさびやすくなります。

■燃料の抜取り

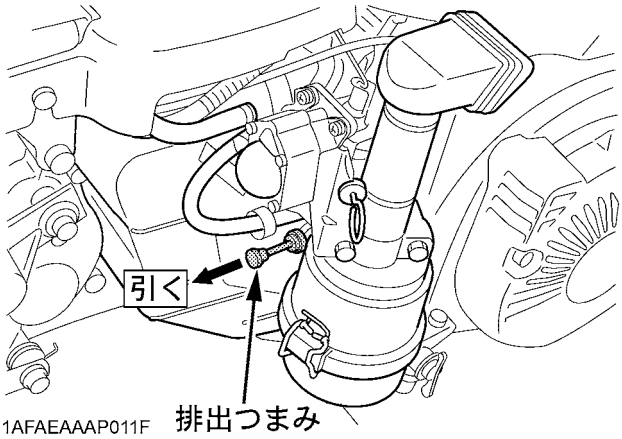
注　意

＊ 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。

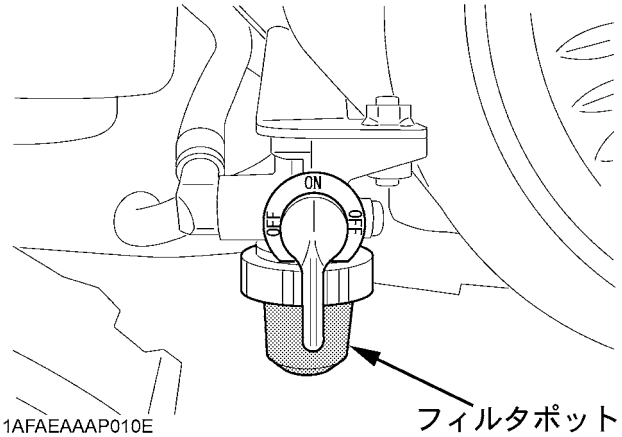
1ヵ月以上使用しないとき，燃料タンク内のガソリンはポンプなどを使用して抜取り，キャブレタ内は排出つまみを引いて，フィルタポットは外して全部抜取ります。

重　要

＊ 燃料をそのままにしておくと，燃料タンクやキャブレタ内のガソリンが劣化して，次の始動が困難になります。



1AFAEAAAP011F



1AFAEAAAP010E

洗車時の注意

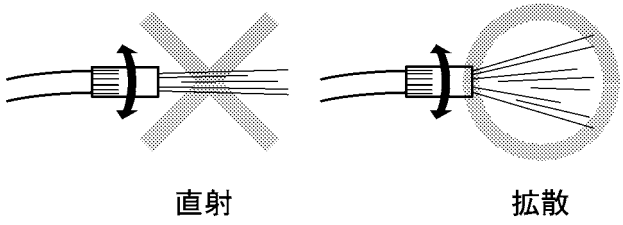
高圧洗車機の使用方法を誤まると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

注　意

機械を損傷させないように洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，

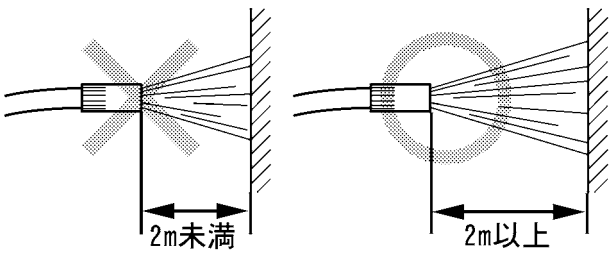
1. **電気配線部被覆の損傷・断線により，火災を引き起こすおそれがあります。**
2. **機械の破損・損傷・故障の原因になります。**
   例）(1) シール・ラベルの剥がれ
   (2) 電子部品，エンジン・トランスミッション室内などへの浸入による故障
   (3) タイヤ，オイルシールなどのゴム類，樹脂類などの破損
   (4) 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ

直射洗車厳禁



1AGACBRAP067A

近距離洗車厳禁



1AGACBRAP068A

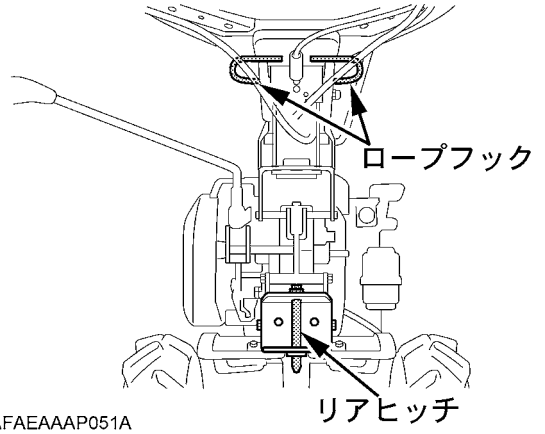
管理機を運搬するとき

自動車(トラック)への積込み,運搬

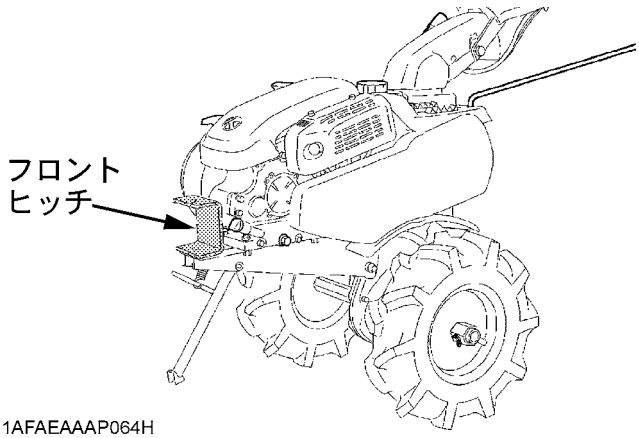
注　意

＊ 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
＊ アユミ板はすべり止めの付いた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ［1］に対しアユミ板の長さ［4以上］のものを使用し，確実に固定してください。
＊ 足元に注意し，車速は最低速で上りは［前進］，下りは［後進］で行なってください。
＊ 途中で主クラッチを切ったり，変速操作を絶対にしないでください。落下・転倒のおそれがあります。
＊ トラックは，荷台に天井がない車を使用してください。首や体をはさまれるおそれがあります。
＊ トラックでの運搬時は，タンク内のガソリンの量を，積込み・積降ろしに必要な最低量とし，残りのガソリンは，別に用意しておいた法で定められたタンクに移して運搬してください。火災のおそれがあります。

1. トラックを平坦な場所に止め，駐車ブレーキを掛けます。
2. あゆみ板を荷台に確実に固定します。
3. 車速は最低速で，上りは前進**［1速］**で，下りは**【後進】**にします。
4. 機体は荷台にロープで確実に固定します。
5. 機体にロープを掛けるときは，フロントヒッチ・リアヒッチ及びロープフックの3箇所を固定します。



1AFAEAAAP051A

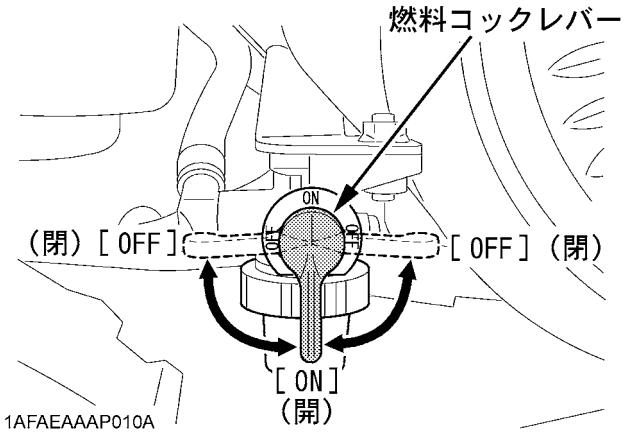


1AFAEAAAP064H

6. 燃料コックレバーを**【閉】**にします。
7. 雨天時には，エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせます。

重　要

＊ ロープを掛けるとき，変速レバーや樹脂カバー，小物部品にロープが触れないように気をつけてください。
破損したり機能が損なわれるおそれがあります。
＊ ハンドルへのロープ掛けはしないでください。ハンドルが変形するおそれがあります。
＊ エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせないで運搬すると，雨水や砂ホコリが入り，エアクリーナ性能が低下します。
＊ 燃料コックレバーを**【開】**いたまま運搬すると，キャブレタ内でガソリンがオーバフローし，エンジン始動が困難となります。また，クランクケース内にガソリンが流入することもあります。



1AFAEAAAP010A

付表

主要諸元

販売型式名		TA500-SK	TA700-K	TA700-N	TA700-SCK	TA700-SCJ	TA700-SCW	TA800-K	TA800-N	TA800-SCK	TA800-SCJ	TA800-SCW
機体寸法	全長 (mm)	1480										
	全幅 (mm)	600										
	全高 (mm)	1110	1110			1140		1110			1140	
機体質量（重量） (kg)		63	65	61	68	70	75	65	61	68	70	75
エンジン	型 式 名	GR130-1-2T	GR170-1-2T					GR200-1-2T				
	種 類	空冷４サイクル傾斜型 OHV ガソリンエンジン										
	総排気量 (L{cc})	0.125 {125}	0.169 {169}					0.195 {195}				
	連続定格出力 (kW {PS} /rpm)	2.2 {3} /1700	3.2 {4.3} / 1700					3.5 {4.8} / 1700				
	最大出力（kW {PS}）	3.2 {4.3}	4.6 {6.2}					5.1 {7.0}				
	使用燃料	自動車用レギュラガソリン										
	燃料タンク容（L）	2.8										
	始動方式	リコイルスタータ式										
走行部	車 輪	3.50-7	3.50-7	ゴムラグ車輪	3.50-7	4.00-7	16 × 7.00-8	3.50-7	ゴムラグ車輪	3.50-7	4.00-7	16 × 7.00-8
	輪 距 (mm)	190 ～ 290	200, 250	120	190 ～ 290	190 ～ 490	265 ～ 515	200, 250	120	190 ～ 290	190 ～ 490	265 ～ 515
	主クラッチ方式	ベルトテンション式										
	操向クラッチ方式	ボール式	なし		ボール式			なし		ボール式		
	変速段数 ハンドル正位置 (段)	前進 4・後進 2	前進 6・後進 4									
	変速段数 ハンドル逆位置 (段)	前進 4・後進 2	前進 4・後進 4									
	走行速度 ハンドル正位置 (km/h)	前進 0.8 ～ 6.5 後進 0.8 ～ 1.3	前進 0.5 ～ 5.5 後進 0.5 ～ 2.1			前進 0.6 ～ 6.4 後進 0.6 ～ 2.4	前進 0.6 ～ 6.5 後進 0.6 ～ 2.5	前進 0.5 ～ 5.5 後進 0.5 ～ 2.1			前進 0.6 ～ 6.4 後進 0.6 ～ 2.4	前進 0.6 ～ 6.5 後進 0.6 ～ 2.5
	走行速度 ハンドル逆位置 (km/h)	前進 0.8 ～ 6.5 後進 0.8 ～ 1.3	前進 0.5 ～ 2.1 後進 0.5 ～ 2.1			前進 0.6 ～ 2.4 後進 0.6 ～ 2.4	前進 0.6 ～ 2.5 後進 0.6 ～ 2.5	前進 0.5 ～ 2.1 後進 0.5 ～ 2.1			前進 0.6 ～ 2.4 後進 0.6 ～ 2.4	前進 0.6 ～ 2.5 後進 0.6 ～ 2.5
	車軸の形状・寸法 (mm)	六角 対辺 23										
	ホイールチューブの形状・寸法 (mm)	六角（内対辺 23, 外対辺 32）										
PTO 回転速度 (rpm)		837										

付表

走行速度一覧表

販売型式名		TA500-SK	TA700-K	TA700-N	TA700-SCK	TA700-SCJ	TA700-SCW	TA800-K	TA800-N	TA800-SCK	TA800-SCJ	TA800-SCW
タイヤサイズ(外径)		3.50-7(Ø350)	3.50-7(Ø350)	ゴムラグ車輪(Ø350)	3.50-7(Ø350)	4.00-7(Ø400)	16×7.00-8(Ø412)	3.50-7(Ø350)	ゴムラグ車輪(Ø350)	3.50-7(Ø350)	4.00-7(Ø400)	16×7.00-8(Ø412)
有効径		Ø324	Ø324	Ø350	Ø324	Ø376	Ø382	Ø324	Ø350	Ø324	Ø376	Ø382
エンジン回転数(rpm)		1700										
単位		km/h(m/min)										
ハンドル正位置	前進1	0.8(13.7)	0.5(8.7)		0.6(10.1)	0.6(10.2)	0.5(8.7)			0.6(10.1)	0.6(10.2)	
	前進2	1.3(21.5)	0.8(13.6)		1.0(15.8)	1.0(16.0)	0.8(13.6)			1.0(15.8)	1.0(16.0)	
	前進3	4.1(68.7)	1.3(22.2)		1.6(25.8)	1.6(26.2)	1.3(22.2)			1.6(25.8)	1.6(26.2)	
	前進4	6.5(107.7)	2.1(34.8)		2.4(40.4)	2.5(41.0)	2.1(34.8)			2.4(40.4)	2.5(41.0)	
	前進5	—	3.5(58.7)		4.1(68.1)	4.2(69.2)	3.5(58.7)			4.1(68.1)	4.2(69.2)	
	前進6	—	5.5(91.9)		6.4(106.7)	6.5(108.4)	5.5(91.9)			6.4(106.7)	6.5(108.4)	
	後進1	0.8(13.0)	0.5(8.2)		0.6(9.5)	0.6(9.7)	0.5(8.2)			0.6(9.5)	0.6(9.7)	
	後進2	1.3(21.5)	0.8(13.6)		1.0(15.8)	1.0(16.0)	0.8(13.6)			1.0(15.8)	1.0(16.0)	
	後進3	※	1.3(21.0)		1.5(24.4)	1.5(24.8)	1.3(21.0)			1.5(24.4)	1.5(24.8)	
	後進4	※	2.1(34.8)		2.4(40.4)	2.5(41.0)	2.1(34.8)			2.4(40.4)	2.5(41.0)	
	後進5	—	—		—	—	—			—	—	
	後進6	—	—		—	—	—			—	—	
ハンドル逆位置	前進1	0.8(13.0)	0.5(8.2)		0.6(9.5)	0.6(9.7)	0.5(8.2)			0.6(9.5)	0.6(9.7)	
	前進2	1.3(21.5)	0.8(13.6)		1.0(15.8)	1.0(16.0)	0.8(13.6)			1.0(15.8)	1.0(16.0)	
	前進3	3.9(65.1)	1.3(21.0)		1.5(24.4)	1.5(24.8)	1.3(21.0)			1.5(24.4)	1.5(24.8)	
	前進4	6.5(107.7)	2.1(34.8)		2.4(40.4)	2.5(41.0)	2.1(34.8)			2.4(40.4)	2.5(41.0)	
	前進5	—	—		—	—	—			—	—	
	前進6	—	—		—	—	—			—	—	
	後進1	0.8(13.7)	0.5(8.7)		0.6(10.1)	0.6(10.2)	0.5(8.7)			0.6(10.1)	0.6(10.2)	
	後進2	1.3(21.5)	0.8(13.6)		1.0(15.8)	1.0(16.0)	0.8(13.6)			1.0(15.8)	1.0(16.0)	
	後進3	※	1.3(22.2)		1.6(25.8)	1.6(26.2)	1.3(22.2)			1.6(25.8)	1.6(26.2)	
	後進4	※	2.1(34.8)		2.4(40.4)	2.5(41.0)	2.1(34.8)			2.4(40.4)	2.5(41.0)	
	後進5	—	※		※	※	※			※	※	
	後進6	—	※		※	※	※			※	※	

※部はケンセイのため使用できません。

＊この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

標準付属部品

品名	数量 / 台	備考
プラグボックス	1	
取扱説明書	1	
保証書	1	
ガソリンメンテナンス要領書	1	
ボルト	1	ハンドル固定用

主な消耗部品一覧表

● 本機関係

品　名	数　量			備　考
	TA500	TA700	TA800	
V ベルト（B41）	1	—	—	
V ベルト（41IN）	—	1		
ケーブル（シュクラッチ）	1			
ケーブル（スロットル）	1			
ケーブル（ハンドルジョウゲ）	1			
ケーブル（PTO クラッチ）	1			
ケーブル（ソウコウ）	2	—	—	
ケーブル（ソウコウ右）	—	1	1	
ケーブル（ソウコウ左）	—	1	1	
シャジクピン	4			車輪取付け用
スナップピン	4			車輪取付け用
ヒッチピン	1			
スナップピン	1			ヒッチピン取付け用
オイルシール	2			車軸用
ピン（シャジク）	4			駆動スプロケット取付け用
オイルシール	1			PTO 軸

● エンジン関係

品　名	数　量			備　考
	TA500	TA700	TA800	
スパークプラグ	1			(NGK) BP6HS
フューエルチューブ	1			燃料タンクからフィルタポット
フューエルチューブ	1			フィルタポットからキャブレタ
フューエルチューブ	1			ポンプからキャブレタ
フューエルチューブ	1			ポンプからタンク
エレメント，アッシ (エアクリーナ)	1			エアクリーナ用
ガスケット（オイルパン）	1			エアクリーナ用
ロープアッシ	1			スタータ用

トラブルと処置

■ エンジンが始動しないとき

原　因	処　置
● 始動の手順が間違っている。	正しい順序で始動する。(13 ページの**運転のしかた**の項を参照)
● タンクにガソリンを入れたまま 1 ヵ月以上保管しガソリンが劣化した。	タンク・キャブレタ内の劣化したガソリンを排出し，新しいガソリンを入れる。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外してフィルタエレメントを清掃する。また新しい物と交換する。 キャブレタ内のガソリンも排出する。
● チョークを引いた（閉じた）状態でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸い過ぎた。	チョークを戻し（開き）リコイルを引くか，点火プラグを外して乾燥させる。
● エンジン停止後，燃料コックを閉じないで本機を前に倒したり，車両で運搬したためキャブレタがオーバフローした。	クランクケース内にガソリンが混入していたら，新しいエンジンオイルと交換する。
● エアクリーナエレメントが目詰まりしている。	エレメントを外して清掃する。 又は新しい物と交換する。
● 点火プラグの火花が弱い，飛ばない。	点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。又は，新しい物と交換する。

■ エンジン回転が上がらない，不安定，出力が不足するとき

原　因	処　置
● エンジンが暖まってもチョークを引いた（閉じた）まま運転している。	チョークを戻す（開く）。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外して清掃する。 キャブレタ内のガソリンも排出する。
● エアクリーナエレメントが汚れている。	エレメントを外して清掃する。
● スロットルケーブルの引張りが不足している。	ケーブルのセット位置を調節する。

■ エンジンが振れる，異音が発生する

原　因	処　置
● エンジン取付けボルトがゆるんでいる。	取付けボルトを締付ける。

■ ハンドルのガタが多い

原　因	処　置
● ハンドル回転部のガタが多い。	固定用ボルト（出荷部品）でハンドルを固定する。(ハンドル位置は中央のみ)

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは，購入先にご相談ください。

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点は まず，購入先へ ご相談ください

おぼえのため，該当する項目に記入されると便利です

<table>
<tr><td colspan="2">購入先名

担当

電話番号（　　）　　－</td><td>型式名</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>区分</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>車台番号（製造番号）</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>エンジン型式

エンジン番号</td></tr>
<tr><td>ご購入日</td><td>キーナンバー</td><td rowspan="2">その他装着型式

機械番号</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
</table>

※ご記入の際には、サービスと保証のページをご参照ください。
なお、型式により該当しない記入項目もあります。

ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

クボタアグリサービス株式会社

北海道事務所	電(011)376-4434	〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地３－１
秋田事務所	電(018)845-1601	〒011-0901 秋田市寺内字大小路207-54
仙台事務所	電(022)384-5162	〒981-1221 宮城県名取市田高字原182－１
東京事務所	電(048)862-1124	〒338-0832 さいたま市桜区西堀５－２-36
新潟事務所	電(025)285-1261	〒950-0992 新潟市中央区上所上１-14-15
金沢事務所	電(076)275-1121	〒924-0038 石川県白山市下柏野町956－１
名古屋事務所	電(0586)24-5111	〒491-0031 愛知県一宮市観音町１－１
大阪事務所	電(06)6470-5850	〒661-8567 兵庫県尼崎市浜１－１－１
岡山事務所	電(086)279-4511	〒703-8216 岡山市東区宍甘275
米子事務所	電(0859)39-3181	〒689-3547 鳥取県米子市流通町430-12
福岡事務所	電(092)606-3161	〒811-0213 福岡市東区和白丘１－７－３
熊本事務所	電(096)357-6181	〒861-4147 熊本市南区富合町廻江846－１
株式会社四国クボタ本社	電(087)874-8500	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分字向647－３

株式会社クボタ

国内農機カスタマーセンター：電(072)241-1375　〒590-0823 大阪府堺市堺区石津北町64

Kubota

安全宣言

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が
一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

陸内協排出ガス自主規制適合

このラベルは「(社)日本陸用内燃機関
協会排出ガス自主規制適合エンジン」
であることを示しています。

株式会社クボタ
〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

品番　KF022-6511-8